

エシカル甲子園

～「私たちが創る持続可能な社会」全国、そして世界へ～

2021



エシカル甲子園

～「私たちが創る持続可能な社会」全国、そして世界へ～

2021



3月18日[金]

徳島グランヴィリオホテル
〒770-0941 徳島県徳島市万代町3丁目5-1

9:30～ 9:50 開会行事
10:00～12:00 発表(前半) エシカル消費推進の取組に関する
13:00～14:00 発表(後半) 各校のプレゼンテーション
14:10～14:50 交流タイム
15:00～15:30 閉会行事(表彰 講評)

本選出場校

北海道・東北ブロック 宮城県農業高等学校
関東ブロック 麗澤中学・高等学校
甲信越・北陸ブロック 福井県立福井商業高等学校
東海ブロック 愛知県立半田商業高等学校
近畿ブロック 奈良県立奈良情報商業高等学校・
奈良県立商業高等学校
中国ブロック 金光学園高等学校
四国ブロック 愛媛県立南宇和高等学校
九州・沖縄ブロック 沖縄県立八重山高等学校
開催県枠 徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校
グローバル枠 長野日本大学高等学校
審査委員特別枠 博多女子高等学校

次点校

北海道・東北ブロック 市立札幌藻岩高等学校
関東ブロック 栃木県立栃木農業高等学校
甲信越・北陸ブロック 山梨県立甲府第一高等学校
東海ブロック 静岡県立富岳館高等学校
近畿ブロック 大阪府立堺工科高等学校
定時制の課程
中国ブロック 広島県立祇園北高等学校
四国ブロック 英明高等学校
九州・沖縄ブロック 沖縄県立那覇国際高等学校
開催県枠 徳島県立城西高等学校
グローバル枠 川崎市立川崎高等学校

主催：徳島県教育委員会 徳島県

後援：消費者庁 文部科学省 日本エシカル推進協議会
JICA四国 ESD活動支援センター
四国地方ESD活動支援センター 消費者教育支援センター
徳島新聞社 NHK徳島放送局 四国放送
ケーブルテレビ徳島 エフエム徳島 徳島大学
鳴門教育大学 徳島文理大学 四国大学



会場は「とくしまスマートライフ宣言」に基づき「3密の回避」を徹底して実施いたします。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンラインのみの開催とする場合があります。



ライブ配信は
こちら



アンケートは
こちら



オンライン
投票はこちら



エシカル甲子園特別賞投票方法・アンケートのお願い

「エシカル甲子園特別賞」について

本選プレゼンテーションを御覧いただいた皆様の投票により「エシカル甲子園特別賞」を1校決定し、授与いたします。

投票方法

● 本選出場校及び次点校の方々

本選当日に配布する専用のQRコードより投票をお願いいたします。

● 来場またはオンラインで御参加されている一般の方々

以下のURLまたはQRコードより投票をお願いいたします。

URL
<http://eshikaru.com/>

投票時間: 3月18日(金) 9:30~14:15



アンケートについて

「エシカル甲子園2021」本選に御参加・御視聴いただきありがとうございます。

● 以下のURLまたはQRコードよりアンケートへの御協力をお願いいたします。

URL
https://s-kantan.jp/pref-tokushima-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=7136

回答期限: 令和4年3月27日(日)



抽選で100名様に「すだちくんグッズ」「エシカル甲子園マスクケース」「消費者啓発グッズ」のいずれかをプレゼントします。

※アンケート回答の際、プレゼントに「応募する」を選択した際には、続けて送付に必要な「郵便番号・住所・宛名」を記入する必要がありますので御留意ください。

※当選は発送をもってかえさせていただきます。



エシカル甲子園 2021

CONTENTS

日程・本選発表順	1
開催によせて	2
審査委員会委員紹介	3
博多女子高等学校	5
奈良県立奈良情報商業高等学校・奈良県立商業高等学校	7
麗澤中学・高等学校	9
沖縄県立八重山高等学校	11
金光学園高等学校	13
愛知県立半田商業高等学校	15
愛媛県立南宇和高等学校	17
徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校	19
福井県立福井商業高等学校	21
長野日本大学高等学校	23
宮城県農業高等学校	25
市立札幌藻岩高等学校	27
栃木県立栃木農業高等学校	28
山梨県立甲府第一高等学校	28
静岡県立富岳館高等学校	29
大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程	29
広島県立祇園北高等学校	30
英明高等学校	30
沖縄県立那覇国際高等学校	31
徳島県立城西高等学校	31
川崎市立川崎高等学校	32
とくしま・エシカル高校生委員会	32
交流タイム	33
表彰概要	35
協力校等紹介	36
「エシカル甲子園2021」参加校データ	37
今後の活動に向けてのアドバイス	38

エシカル甲子園2021

～「私たちが創る持続可能な社会」全国、そして世界へ～

- 日時** 令和4年3月18日(金) 9:30～15:30
- 会場** 徳島グランヴィリオホテル
- 概要** エシカル消費の推進に向けた取組について、「WITHコロナ」の今だからこそ、高校生等のしなやかな感性と発想で「新しい生活様式」を踏まえてできる実践を募集し、特に優れた取組発表について表彰する。

次第	時間	内容	発表方法
	9時30分～	開会行事 主催者挨拶 本選参加校紹介 審査委員紹介	発表方法 ①発表は、10分以内とする。 その後、審査委員からの質疑を行う。 ②プレゼンテーションソフトを用いる場合、パソコン操作は生徒が行うこととする。 ③パソコン操作者を含め、発表は生徒3名以内とする。
	10時～	発表(前半)	
	12時～	昼食	
	13時～	発表(後半)	
	14時10分～	交流タイム	
	15時～	閉会行事 結果発表 表彰 講評 来賓挨拶 主催者挨拶 写真撮影	

本選発表順

前半【10:00～12:00】		
① 10:00～	審査委員特別枠代表	博多女子高等学校
② 10:15～	近畿ブロック代表	奈良県立奈良情報商業高等学校・奈良県立商業高等学校
③ 10:30～	関東ブロック代表	麗澤中学・高等学校
④ 10:45～	九州・沖縄ブロック代表	沖縄県立八重山高等学校
⑤ 11:00～	中国ブロック代表	金光学園高等学校
⑥ 11:15～	東海ブロック代表	愛知県立半田商業高等学校
⑦ 11:30～	四国ブロック代表	愛媛県立南宇和高等学校
⑧ 11:45～	開催県枠代表	徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校
昼食		
後半【13:10～14:00】		
⑨ 13:10～	甲信越・北陸ブロック代表	福井県立福井商業高等学校
⑩ 13:25～	グローバル枠代表	長野日本大学高等学校
⑪ 13:40～	北海道・東北ブロック代表	宮城県農業高等学校



消費者庁長官
伊藤 明子

コロナ禍により、持続可能な社会の実現の重要性が一層明らかとなり、SDGsの達成に向けた取組を一層加速させていくことが求められています。SDGsの12番目の目標には「つくる責任 つかう責任」が掲げられており、事業者だけではなく、消費者も「今だけ・ここだけ・自分だけ」の消費行動から「未来・地域・社会」に配慮した消費行動、いわゆるエシカル消費に転換し、推進していくことが重要です。本年4月から成年年齢が引き下げられ、18歳から一人前の消費者となります。悪質商法に騙されないことのみならず、未来を担う若者が大人として、より良い消費を考えることも大事です。SDGsに関連する社会課題に向き合い、自ら学び、エシカル消費を実践していくことは、持続可能な社会の実現につながるなど、意義深いことと考えています。消費者庁では、徳島に新未来創造戦略本部を設置し、エシカル消費の普及・啓発など未来志向の消費者行政に積極的に取り組み、発信しています。エシカル甲子園については、毎年、質の高い取組が紹介され、今年も多くの高校から創意工夫を凝らした活動を御応募いただき、皆さん自身が積極的に取組を進められていることを大変心強く感じています。

「エシカル甲子園2021」に御参加いただき、誠にありがとうございます。また、コロナ禍の中、関係者の皆様の創意工夫と熱意により、本年も大会を開催できますことに、厚くお礼申し上げます。世界が希求する「SDGs達成」に向けては、人々が知恵を持ち寄り互いに高め合い、GX（グリーントランスフォーメーション）やDX（デジタルトランスフォーメーション）など、取組を加速していくことが不可欠です。そして、SDGsの12番目「つくる責任、つかう責任」の達成に向けては、未来を担う若い皆さんの「エシカル消費の実践」が大きな原動力となります。豊かな感性あふれる各校の取組に心から期待するとともに、これからも「エシカル甲子園」を通して、全国の高校生の皆さんによる「新たな挑戦」を、ここ「エシカル消費先進県・徳島」から世界に発信して参ります。皆さん、心を一つに、「持続可能な社会」の創造を目指し、共に頑張りましょう。



徳島県知事
飯泉 嘉門



徳島県教育委員会教育長
榎 浩一

徳島県では「未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる『人財』の育成」を基本方針とする「徳島教育大綱」に基づき、持続可能な社会を実現する「徳島ならではの」教育を推進しております。その具現である「エシカル甲子園」について、3回目を開催できることを大変嬉しく思っております。これもひとえに、関係の皆様、何より、全国で「エシカル消費」の推進に取り組んでいる高校生等の皆さん、御指導くださっている先生方のお陰です。心より感謝申し上げます。今回の大会では、GIGAスクール構想等を活用した海外の高校等との取組について募集する「グローバル枠」、参加高校生や視聴者の方からの投票で決定する「エシカル甲子園特別賞」を新たに創設しました。新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、学校での教育活動が制限される中、若い皆さんが、「この状況で自分ができることは何か」を真摯に考え、課題に前向きに取り組んでいることを非常に頼もしく思います。今年度も、本選の様子をライブ配信いたします。SDGsの実現には、私たち一人一人の意識や行動の変化が重要です。一人でも多くの方に、若い感性溢れる発表を御視聴いただき、「エシカル消費」の輪がここ徳島から広がっていくことを期待しています。



委員長

- 日本エシカル推進協議会会長
- 東京都市大学名誉教授
- IGES 地球環境戦略研究機関シニアフェロー
- UNEP 国連環境計画持続可能な公共調達イニシアティブ (SPPI) アドバイザー

中原 秀樹 氏

comment

循環型経済における創造性、雇用創出そして次世代育成への取り組みを期待させる高度な取り組みが今回の応募の特徴であり、高く評価しています。



副委員長

- 四国大学短期大学部ビジネス・コミュニケーション科教授
- とくしまエシカル消費推進会議会長
- とくしま SDGs 未来会議代表
- 専門は「消費者教育」「ライフプランニング」

加渡いづみ 氏

comment

各校の専門性を活かし、コロナ禍の中でも地域の多様な主体と連携した活動の展開と、世界に向けて広がる視点に感銘を受けました。



委員

- エシカル・ペネロプ株式会社 代表取締役
- 日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ) 代表理事
- 日本エシカル推進協議会 (JEI) 理事
- フェアトレード名古屋ネットワーク (FTNN) 理事

原田さとみ 氏

comment

皆さんのエシカル・アクションは、思いやりの眼差しで課題を解決し、自分たちの地域と世界を結び、穏やかな未来を創造しています。



委員

- 一般社団法人エシカル協会代表理事
- 日本ユネスコ国内委員会広報大使
- 一般社団法人日本エシカル推進協議会理事
- 新著「エシカル革命」(山川出版社)

末吉 里花 氏

comment

世界の課題を足元に引き寄せて、地域の特性を活かした多様な取組を実践する高校生たちは、未来の希望であると感じました。



委員

- 公益社団法人消費者関連専門家会議 (ACAP) 専務理事
- 元キリン株式会社お客様相談室室長
- 独立行政法人国民生活センター特別顧問 等を歴任
- 消費者庁消費者教育推進会議委員

坂倉 忠夫 氏

comment

各校とも地域の課題にしっかり向き合いエシカルを自分ごととらえ、コロナに負けず独自の活動を展開しており、感銘を受けました。



委員

- (一社) 日本経済団体連合会 (経団連) ソーシャル・コミュニケーション本部 首席主幹
- 消費者庁 消費者志向経営の推進に関する有識者検討会委員
- コーポレートガバナンス、通商政策、経済外交、気候変動対策等に従事
- ジョージタウン大学法学修士
タフツ大学フレッチャー法律外交大学院国際法修士

笠井 清美 氏

comment

今までの消費行動を振り返り変えるきっかけや地元の活性化にもつながる、新たな発想や発展的な取組が多くみられました。



委員

- 弁護士 (福井弁護士会)
- 文部科学省消費者教育推進委員会委員、同省消費者教育アドバイザー
- 日本エシカル推進協議会理事
- 消費者教育推進会議委員など歴任

島田 広 氏

comment

パンデミックの影響などさまざまな課題を抱える地域の中で、創意工夫を凝らした活動で活力を生み出す高校生の姿が輝いていました。



委員

- 朝日新聞オピニオン編集部次長
- 2000年朝日新聞社入社大阪社会部、東京本社くらし報道部等を経て現職
- 近年は消費社会や家族のあり方、多様性について取材
- 「大量廃棄社会アパレルとコンビニの不都合な真実」(仲村和代、藤田さつき/著)

藤田さつき 氏

comment

さすがデジタルネイティブ世代。アプリなどのツールを上手に使い、コロナ禍でも広く届くよう工夫されている点が印象的でした。



委員

- NHK 徳島放送局 副局長
- 徳島市社会教育委員会 委員
- スポーツ王国とくしま推進会議 委員
- 徳島行政監視行政相談センター 行政懇談会 委員

河井 貴志 氏

comment

全国の各地域ならではの素材および課題に着目し、歴史や経緯など調査分析を行った上で、改善・解決の糸口を見つけ出している。



委員

- 全国高等学校長協会家庭部会理事
- 公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会理事
- 千葉県高等学校教育研究会家庭部会長
- 千葉県立佐倉東高等学校長

木次 慎一 氏

comment

コロナ禍に負けず、高校生ならではの柔軟で、しなやかな発想と行動力での実践が素晴らしいと思います。

博多女子高等学校

私たち地域共創部は、六年前から糸島市の地域活性化を目指したプロジェクトを行っています。

本年度は、牡蠣を無駄にしないことを目標に「カキ味噌」と牡蠣殻を使用した「肥料」に着目しました。

発表を通して私たちの活動を広めるとともに、糸島市が抱える様々の問題を解決し、SDGsの達成に貢献していきます。そして、糸島をカッコイイ(活気)づけていきます。

アンケートはこちら



投票はこちら



博多女子高等学校 商品開発

私たちの活動を多くの方に知っていただくための広報活動も怠りません!!

糸島へ現地調査に行き、コロナウイルスの影響により、大量に牡蠣が余っている現状を知り、牡蠣殻収集場を見せていただきました。私たちの身長をはるかに超える高さの量でした。

商品パッケージに掲載されたQRコードから牡蠣みそ「肉巻きおにぎり」「ピザ」「牡蠣みそドリア」「そばろ丼」など私たちが実際に調理をした料理のレシピサイトにつながります。

調理実習 & テレビ取材の様子

ラベル考案の様子

現地調査の様子

牡蠣殻配布の様子

予選審査での審査委員コメント

- コロナ禍で消費が減った地元産の牡蠣を救うため、これまで蓄積してきたノウハウを活用しつつ、ユーモアで工夫を凝らした実効性のある解決策を導いている点が評価できる。
- 地域の人々と連携し地域名産品を活かしたエシカルな活動は、6年前から継続して授業の一環として取り組んでおり、成果を毎年出し地域貢献に繋がっていることが大変素晴らしい。
- ゼロエミッションによるSDGsの達成を評価したい。家庭から出た殻を使った肥料づくりの普及啓発は、今後の家庭におけるごみ削減、エシカル消費の推進への繋がりが期待できる。

発表概要



牡蠣小屋の雇用問題、新型コロナウイルスによる牡蠣の余剰問題を抱えていることを知った。牡蠣を無駄にしないことを目標に活動を開始。

こんなにも大変な作業を行っているが...

◆ 収益が少ない
◆ 人手不足でも雇用出来ていない

新型コロナウイルスの影響

余剰問題解決のため、販売場所を増やしカキ味噌を広め、売り上げを伸ばす。収益が少ないため人手不足で雇用を増やせていない。

作り方

- ① 沸騰させたお湯に牡蠣殻を入れ塩抜き
- ② 乾燥させる
- ③ ハンマーなどで細かく砕く

完成

一般家庭で牡蠣殻肥料を作ることができ、無駄なく使うことで環境問題解決に貢献。

メディア出演

- ◆ TVQ『土曜の夜は!おとななテレビ』コーナー「独走!おとなな研究所」【7月17日放送】
- ◆ TNC『もち派ストア』牡蠣特集【8月9日放送】

カキ味噌の魅力

カキ味噌や調理実習、現地調査の様子などを、テレビや新聞などの多くのメディアからも注目されている。

パッケージの改良

➡

既存のパッケージ NEW!!

牡蠣のイラストを大きくし、糸島漁協のロゴを統一。また、新たに九州しょうゆバター味を開発し、パッケージの改良を行った。

2社との商談

しんきん商談会参加

販売

福岡県庁販売実習

しんきん合同商談会に参加、福岡県庁での販売実習やネットでの試験販売を行い取材も受けた。

天然資源を無駄なく使用

土壌改良・水質浄化

海と陸の環境改善

天然資源を活用することで、海と陸の環境改善ができ、SDGsに貢献できる。

- ・後輩へ引き継ぎ
- ・永久的な余剰問題解決
- ・SDGsに貢献

私たちの活動を後輩へ引き継ぐことで、永久的な余剰問題解決や、SDGsの取組に貢献する。

奈良県立奈良情報商業高等学校・奈良県立商業高等学校

すでに実績と固定客をもつ「たまつえマルシェ」で培った物販やフードドライブのノウハウを生かし、「高齢者の生きがいづくり」と「生理の貧困対策」をトータルに実現。

『生理の貧困』は一過性のものではないので、持続可能な取り組みとなるように、そして本当に困っている人の支援ができるように、これからも高齢者と若い力を融合した地域活性化に取り組み、高齢者の知恵と経験を生かした地域コミュニティの絆を深めていきたい。



部局たまつえ



令和版海石榴市



駅前マルシェ



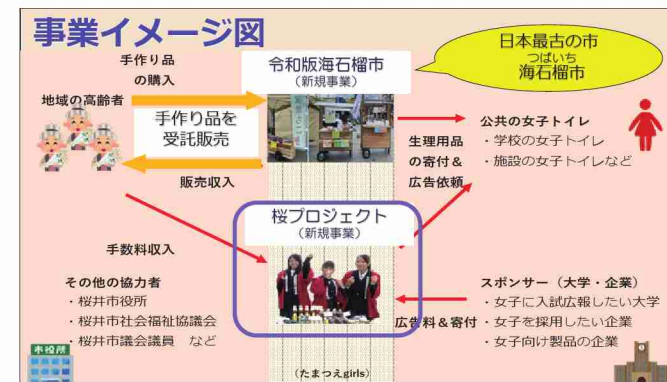
フードドライブ



桜プロジェクト

奈良県立商業高等学校・奈良情報商業高校

発表概要



『生理の貧困』が社会問題になっていることを知り、何かできることはないかと考え、高齢者を中心に街角インタビューを実施。



桜井市にあった日本最古の市「海石榴市(つばいち)」を参考に、高齢者の手作りを私たちが受託販売することに。

令和版海石榴市

※主役は地域の高齢者※

背景	地域の高齢者のやる気・やりがいを生み出し QOLを向上したい。
目標	昔の賑わいを取り戻し、多くの人の出会いの場とする。高齢者の方の日々の生活の楽しみを与えたい。
対象	出品者：能力を発揮したい市内の高齢者。 購入者：お店では買えない商品を購入したい人。

女性を中心とした高齢者が海石榴市での手作りの販売を通じて利益を生み出し、同じ女性として『生理の貧困』に悩む女子たちを救うというストーリーを描いた。

たまつえgirlsによる桜プロジェクト

『生理の貧困』対策に取り組む

プロジェクト1

女子トイレに設置

拡大

経済的事情だけではなくポーチに入れて、それをもってトイレに行くこと自体に恥じらひを感じてしまうと言っていた女子生徒にも好評。

プロジェクト2

桜井市と連携 (連携発表会までの流れ)

市役所訪問 → 案内カードの作成 → ロゴマークの作成 → 業者の選定 → 梱包作業 → ラッピング → 連携発表会

役所を訪問し、私たちのプロジェクトを説明。大変喜んでいただき、話ごとんと拍子に進んだ。

連携発表会

22個入りの生理用品を704パック、金額にして10万円分を松井正剛市長にお渡しした。

予選審査での審査委員コメント

- 異なる課題を繋げた発想の豊かさ、地域の歴史に繋げてストーリー性をもたせる企画力、地域の企業や自治体を巻き込み解決に繋げたパワーなど、取組の展開が素晴らしい。
- 当事者性の高い高校生が動き、行政や学校を動かしたことに感銘を受けた。それを、高齢者の生きがいづくりと繋げ、街の人々の生きやすさの循環を作り出している点が素晴らしい。
- SDGsをよく理解し、コロナ禍でも高齢者が安全に社会参画できるように、「手作りを受託販売する」というアイデアが实际的で意義がある。

桜井市教育委員会へ



市内の中学校や公共施設の個室トイレに設置できるよう220パックを桜井市教育長にお渡し。

成果と課題

成果	<p>【高齢者の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会との関りが希薄になっていたが、孫みたいは高校生の若い世代と話す機会が でき、楽しい時間を過ごせた。 誰かの役に少しでも立てていると思うと、自分も幸せな気持ちになった。 <p>高齢者が目標を持ち、やる気ややりがい、日常の楽しみにつながった。何らかの形で人の役に立ちたいと考えている方たちが、気軽に協力することができた。</p>
課題	<p>【持続可能な取り組みとすること】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度取り組んだら問題解決というわけにはいかない。持続可能な仕組み作りが必要 桜井市税務課、桜井まちづくり株式会社と連携・協力のもと、生徒開発商品が思いやり型返礼品に。本当に困っている人に支援が行き渡る仕組み作りが必要

高齢者の知恵と経験を生かした地域コミュニティの絆を深め、高齢者と若い力を融合した地域活性化に今後も取り組んでいきたい。

麗澤中学・高等学校

私達、麗澤高校 SDGs 研究会は部活動の一貫として中高合わせて 60 名で活動を行い、学校から一切お金をもらっていません。

現在は、この部活の活動費を全てフェアトレードコーヒーの収益で運営し、中心の活動となっています。

たった 1 人の想いから始まったこの活動は、東ティモールの大使の来校まで広がり、一歩ずつではありますが、高校生の私たちにしかできないことがあると実感しています。

私たちは、この活動で世界を変えていきます！

アンケート
はこちら



投票は
こちら





麗澤高校 SDGs研究会 「EARTH」

【フェアトレードコーヒーの活動】

私たちは、東ティモールのフェアトレードで取引されたコーヒー豆を使用したドリップコーヒーやオリジナルのドリップバッグを販売し、フェアトレードについて多くの人に知ってもらえるように活動をしています。

学校から一切お金をもらっておらず、この収益が私たちの運営資金となり、研究会全体の持続可能な循環を生み出しています。

今、私たちにできること。



予選審査での審査委員コメント

- 1 人の生徒から始まった活動が、ショップの展開から大使の来学へと大きく波及しており、「私たちにできること」を最大限に考え実践し、継続的な将来計画へと結びつけた点が素晴らしい。
- 生徒が主体的に学習を深め意義を感じながら活動し、教科書からの気づき、そこでぶつかった壁、新しい展開…と、ハードルを着実にクリアしながら活動を広げている点に好感が持てる。
- フェアトレード先の選定理由がしっかりとしており、必ずしも認証に頼らず、独自に支援する主体性が見られる。現地の生産に欠かせない機器を寄贈するという選定も良い。

発表概要

今、私たちにできること。

コーヒー1杯の物語 ～フェアトレードの輪を広げるために～

麗澤高校
SDGs研究会「EARTH」



私たちのスローガンである「今、私たちにできること。」をタイトルにしてそれをもとに副題を決定。私たちのフェアトレードコーヒーの活動を紹介するのでコーヒーを背景に。

「EARTH」の活動のきっかけ

2018.9月
2019.11月

それを実現するために

フェアトレードコーヒーの目的
「募金していただいたお金を全額寄付したい」
「フェアトレード」という言葉が必要のない世界を創ること

フェアトレードコーヒーの目標
・合計100kgのコーヒー豆を販売する
・オンラインショップでドリップバッグを1000個販売する

私たちが活動を始めたきっかけからフェアトレードコーヒーを始めることになった理由を写真を使って説明。フェアトレードコーヒーの目的と目標について。

東ティモール大使来校！

なぜ東ティモールなの？

フェアトレードコーヒーの活動が東ティモールの大使に伝わり、東ティモールの大使の来校が実現しました。大使からの貴重な講演に加え、SDGs研究会のメンバーが大使に向けて、プレゼンテーションを英語で行いました。

東ティモールは日本と時差がなく、2002年に独立したアジアで最も新しい国です。最貧国とも言われるほど経済水準は低く、4人に1人がコーヒー農家で生計を立てています。だからこそ、私たちの支援次第で持続可能な発展が見込めると考えています。

東ティモールはアジアで最も新しく独立した国で、経済水準が低く、持続可能な発展の見込みがある。自分らの活動が大使に伝わったことにより、来校が実現した。

コロナ禍でも持続的な支援を

オンラインショップ開設！【活動を日本全国へ】

SOCIAL PRODUCTS AWARD 2022

持続可能な社会の実現につながる優れた「ソーシャルプロダクツ」に光をあて社会性と商品性の両面を評価するもの

麗澤オリジナル フェアトレードコーヒードリップバッグ

東ティモール洪水支援 オンラインサロン開催

コロナ禍で始めたオリジナルドリップバッグ、オンラインショップ開設について。ドリップバッグが学校法人初のソーシャルプロダクツアワード受賞について。東ティモールの洪水被害支援のオンラインサロンについて。

SDGs研究会「EARTH」について

活動人数：60人
発足年：2020年

【大会実績】

- SDGs探求 AWARDS2020 中高生部門 優秀賞受賞
- 高校生 ボランティア・アワード2021 ポスター部門 全国1位受賞
- 第25回 ボランティア・スピリット・アワード 銅賞受賞

【2021年度企画紹介】

- ～買う～
・レモネードスタンド
・フェアトレードコーヒー
・石鹸、アロマキャンドル作り
- ～知る～
・啓発活動
・幼稚園SDGs啓発活動
・アナログゲーム
- ～参加する～
・海をきれいにする
・文房具回収
・制服リユース

活動人数や発足年、集合写真を記載。2021年度の企画を買う・知る・参加するの3つの視点から紹介。今までに受賞した賞を記載。



活動費をすべてフェアトレードコーヒーでまかなっていること。ローカルな視点、グローバルな視点の両方を活かして、コーヒーの取引が行われていること。

初 外部出店 柏の葉T-Site

保護者会 出店

Noodles & Cafe MEN-OH

お立ち上げプロジェクト
ラーメン屋名店 ユーグレナ社 麗澤高校
めん王 CFO X SDGs研究会

フェアトレードで取引されたバナナペーパーを使用したリーフレットを渡しています。

累計2348杯 (704,400円)

SDGs研究会初の外部出店について。保護者会での出店、持続可能な飲食店「めん王」の立ち上げ、取り組んでいる内容について。

今後の展望

研究会全体の展望

人や場所やお金が無くても、「やってみよう」という気持ちさえあれば始められる。私達の構築してきたビジネスモデルをもとに、真の持続可能な活動を全国で行えるようにする。

フェアトレードコーヒーの展望

外部出店やスーパーなどの外部店舗でドリップバッグの商品の取扱の実現。フェアトレードで取引された紅茶の販売。東ティモールの現地に行ってコーヒー栽培を体験コーヒーの販売活動を実施。

ビジネスモデルを元にした研究会全体の展望と、コーヒーについての新たな活動や紅茶のフェアトレードなどのフェアトレードコーヒーの展望について。

沖縄県立八重山高等学校

地域の人々や社会・環境に配慮したエシカル消費をととして、私たち5万人の石垣島が人と人で繋がる循環型の持続可能な島を目指しています。「小さな力でも集まれば、大きな変化をもたらす」をモットーとして地域に根ざし、消費行動の改善に向けてSDGsを推進し、主体的に実践しています。

島の高校生が「制服リレー」をInstagram等で情報発信し、日本・アジア・世界へエシカル消費の普及・啓発しています。



制服リレー

~ Let's take a small action ! ~



先輩たちの「制服」と「想い」を繋ぐリレーです。



循環型の社会を目指して!



~地域に根ざしたSDGs推進活動~



- ・高大連携フォーラム「アイランダーサミット石垣2019」参加
- ・沖縄県未来社会創世シンポジウム2020参加【主催：琉球大学】
- ・SDGsカードゲーム「2030 SDGs」大会開催
- ・「着きごとをした高校生達」掲載
- ・「家庭科：LIFEおとなガイド」教科書掲載
- ・国際ソロプチミスト日本南リジョン2021オンラインユースフォーラム参加
- ・「おきなわ国際協力・交流フェスティバル2021」SDGsフォトコンテスト
- ・SDGs学習ゲーム「Get The Point」大会開催
- ・NHK総合テレビ「バーチャルクイズバラエティ「未来王2030第2弾」出演

Instagramで情報を発信!



沖縄県立八重山高等学校 家庭クラブ

新しい学校で4月から八重山高校一年生になる後輩に向けて、「卒業生からの制服をいただき、後輩に譲っていく」という、SDGsを生かしたイベントを行いました! 今年はコロナの関係で13時半の一回だけの開催となりましたが、沢山の先輩が来てくださって先輩方の制服を無事受け渡すことができました。

結果.....大成功となりました! またこれを機にSDGsを知ってくれる方や興味を持ったという意見がありました。みんなの嬉しそうなお顔をみて私たちが一年生の時を思い出し、とても嬉しいになりました!

発表概要

1 取り組みの動機

地球規模の課題を知り 未来をより良くしたい

THE TRUE COST 高大连携フォーラム アイランダーサミット石垣
世界で一番エコな学校「グリーンズクール@インドネシア・バリ島」と交流

地球目標で語り合う4日間
the islander summit ishigaki
主催：石垣市 協力：内閣府

「制服」を人・環境に優しい行動へ繋げることができないか?

ドキュメンタリー映画「ザ・トゥルー・コスト」を鑑賞し、洋服が人や地球環境に与える負荷を知ったことが取組のきっかけとなる。

3 実践①

SDGs学習会・SDGsイベント開催

テーマ：ファストファッション・私たちの身近な消費活動

多様な人々と繋がり、日本・世界の抱える課題を知る

フォーラムなどで国内外の有識者や多様な人々と意見交換し、グローバルな視野で課題解決に向けて思考する視点・方法を学んだ。

5 実践③ 普及啓発

Instagram・クラブ通信・HPより発信

「制服リレー」が教科書に掲載 NHK総合テレビに出演

主体的な発信が波及効果となり、SDGs推進・エシカル消費を全国へ

島のシンポジウム等で発表し、PR活動している。SNS・新聞掲載等が波及効果となり教科書掲載、TV出演依頼があり、全国へ発信する機会を得た。

7 検証

実践が持続可能な石垣島に繋がるとを確信

「制服リレー」は持続可能な石垣島に繋がるとは思いますか

入学前 卒業時

3年後

CFP【カーボンフットプリント】温室効果ガスをCO₂排出量で換算

サステナブルファッションとして、CO₂排出量を削減できた。

私たちが小さな変化を起こすことで、循環型の島に繋がると皆の意識や行動が変容した。高校生として実践することの重要性を再確認した。

2 仮説

制服をリユースすることが未来に繋がるのではないかと

3R Reduce Reuse Recycle

リユース エシカル消費

12 つくる責任 つかう責任

11 気候変動に具体的な対策を

「制服リレー」卒業生の制服を後輩へ繋げる仕組み

次世代へ制服を循環する仕組みを構築することで3Rの意識向上、エシカル消費へ繋がれるのではないかと仮説を立てた。

4 実践②

沖縄県初の取り組み「制服リレー」

当初は、卒業生の半数以上が制服を有効活用していなかった

誰かにあげる 23%

捨てる 19%

タンスにしまう 44%

その他 14%

私たちが主体となり卒業生の制服を次世代へ繋ぐ取り組みは、先輩や地域の協力のおかげで、エシカルな消費行動として島に浸透している。

6 実践④ 新規取り組み

地域通貨「まちのコイン」導入で地域活性化

SDGsのイベントや環境活動によって、人を繋げて循環させる

さらに、地域通貨をツールとする仕組みを構築した。人々が笑顔で繋がれ、より良い社会・環境に向けて協働する循環型の島となった。

8 今後の展望・まとめ

1人ひとりが「チェンジメーカー」となる

小さな力でも集まれば、大きな変化をもたらす!

~ Let's take a small action ! ~

日常の当たり前を大切に感謝することからエシカルが始まる。世界を動かすチェンジメーカーとしてエシカル消費の普及啓発に挑みます。

予選審査での審査委員コメント

- 助け合いの精神とシェアリングの観点を内包しており、取組から「誰かと繋がる」ことを学び、独自のアイデンティティに誇りを持ち、持続可能な島づくりを高校生が考える活動を評価したい。
- エシカルを自分事として考え、身近な取組からスタートしている点や広がっていることから、1クラブの取組が学校全体に広がっており、今後より幅広い世代の意識変容に繋がる可能性がある。
- 制服を卒業生から新入生へと受け継いでいく活動を選んだ着眼点が素晴らしく、制服リレーという「リユース+波及力+行動変容」でエシカル行動の好事例となっている。

金光学園高等学校

私たちは衣服の環境問題について知り、デニム生地の端切れを使用した商品を企画販売するアップサイクルに取り組みました。

販売利益はミャンマーで子供達の学校設立をめざすクラウドファンディングに募金します。

「廃棄物を子供達の未来にかえる」この究極のアップサイクルを通して、世界が目標とするSDGsに私たちも貢献し、さらに国境を越え、ひとりでも多くの人達と新しい未来を共有できると嬉しいです。

アンケート
はこちら



投票は
こちら



【様式4】 エシカル甲子園2021 プロフィールシート

学校名 金光学園高等学校 (〒719-0104 岡山県瀬州市金光町占見新田1350)
 発表タイトル 歩成り金デニムコースターによるエシカル消費の喚起
 学校概要 金光学園は、明治27年創設以来、127年の伝統を誇り、地元から厚く支持を受けている。「心の教育を土台にした人間教育」という教育方針は現在にも受け継がれ、生徒一人ひとりが、「人をたいせつに自分をたいせつに物をたいせつに」という合言葉を実践して、本物の生きがいと個性の輝きを得られるよう努めている。

探究活動
 エシカル甲子園応募に当たり、アパレル業界の構造や世界の発展途上国での労働搾取問題、環境負荷問題などの視点を持ちつつ、自分の住む地域でまず実行するという地に足の着いた姿勢で取り組んだ。昨年度に先輩が先鞭をつけたデニムコースターの作成を、コロナ禍で不特定多数からの中古デニムの回収作業が難しくなったため、端切れ生地を利用するという方針を打ち出して製品化に漕ぎつけた。
 リアビズ（高校生模擬起業グランプリ）で全国10チームに選抜され、製品化の資金を得られたのを機に老舗デニムファクトリーの青木被服織や地元商工会、倉敷市役所、郵便局などの多くの方々のご支援をいただきながら、生徒はエシカル消費について学び、実行し、発信するという貴重な経験を積んだ。収益は、本校の他の探究チームが取り組んでいる「ミャンマーに小学校を建てるクラウドファンディング」に寄付する。廃棄物になる予定の端切れ生地がデニムコースターに生まれ変わり、さらには発展途上国の人材育成にまでつながるというアップサイクルを生み出した。倉敷が将棋の聖地であるため、藤井聡太新竜王祝賀会が開催されたときには「歩成り金デニムコースターの贈呈式」で生徒から新竜王に手渡すことができメディアでも大きく報じられたことは生徒には生涯の思い出になる経験であった。地域の方々のおかげで活動に広がりを得ている。

今回の活動は2年生女子生徒8人が行っているが、応募メンバーとしては次の3人である。（模擬会社「ジーナズ」の役職を記載）
 三宅彩乃（代表取締役社長） 玉川小桜（広報マーケティング部長） 坂野友美（広報マーケティング部）



予選審査での審査委員コメント

- 地元の特産や繊維製品の廃棄問題などに着目し、端切れ生地をアップサイクルして地元をアピールする商品を作成・販売するという発想、着眼点がユニークで評価できる。
- 地場産業を意識し、模擬会社の設立や事業者との連携、さらにはブームとなっている将棋テイストを導入するなど、随所に斬新なアイデアがみられる。
- 地域の特産品に注目しながら、生産地の若者こそその当事者性を課題解決に繋げる等、洋服の大量生産・大量廃棄の問題にきちんと向き合い、真摯に取り組む姿勢が評価できる。

発表概要

デニムが作る子供の未来

～廃棄物がミャンマーの子供たちを救う～

廃棄されるデニムの端切れ生地を使った商品を企画販売し、ミャンマーの子供達の学校設立をめざすというアップサイクルに挑戦しました。

サステナブルファッション

サステナブル「sustainable」は「持続可能な」という意味
 「サステナブルファッション」＝「持続可能なファッション」
 ↓
 ファッションの生産、流通・消費（着用、廃棄）において
 地球環境や社会・人に配慮した取り組みのこと

そうした環境問題を解決するために「サステナブルファッション」が広がりはじめています。

私たちの活動

資金がない
 ↓
 リアビズ
 高校生模擬起業グランプリに参加
 ↓
 利益を生む
 ↓
 ミャンマーの学校設立に募金



そこで、私たちは岡山県の「3つの聖地」に基づいた、デニム生地の端切れを使った商品を企画しました。

ミャンマーの学校設立に募金

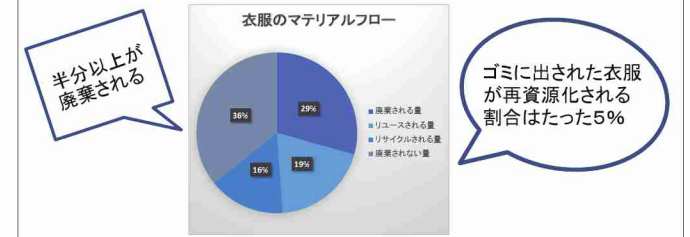
高校生が
クラウドファンディング



金光学園の
探究学習活動

「歩成り金デニムコースター」を販売して得た利益を、ミャンマーに学校設立をめざすクラウドファンディングに募金しました。

衣服の環境問題



衣服の環境問題を調べていく中で衣服の無駄が多く発生していることを知りました。

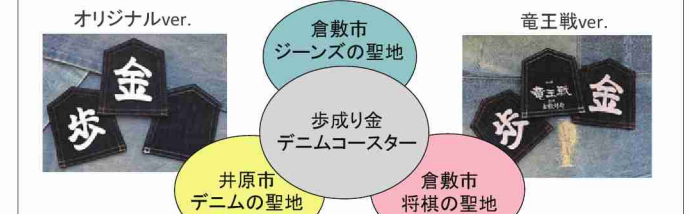
エシカル消費

環境や人権に対して十分に配慮された商品やサービスを選択して買い求めること
 エシカル (ethical) は論理的なという意味



また「エシカル消費」への意識も高まっています。私たちは環境や人権に配慮し、地域に貢献できる商品を企画したいと考えました。

歩成り金デニムコースター



「歩成り金デニムコースター」は、ジーンズのバックポケットと将棋の駒の形を掛け合わせた商品です。

SDGs

1. 貧困をなくそう
4. 質の高い教育をみんなに
9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. 作る責任 使う責任
13. 気候変動に具体的な対策を



私たち金光学園生の探究学習を通しての活動は、これらのSDGsに貢献しています。

愛知県立半田商業高等学校

サーキュラーフード「コオロギ」を通して、私たちは地元の方々に少しでもエシカル消費やSDGsに目を向けた生活を送って欲しいと思い、商品開発や販売実習などを行ってきました。

この度、エシカル甲子園でその取組をさらに多くの方に知っていただくと共に様々な高校の取組を勉強させていただきたいと考えています。コオロギの魅力でエシカル消費やSDGsを訴えてきた私たちの活動と今後について精一杯プレゼンさせていただきます。

アンケートはこちら



投票はこちら



発表概要

本取組の背景

きっかけ
エシカル消費SDGsの認知の低さ
アンケートを実施し本校生徒でも興味を持つような取組を行う必要性を感じた。

私達が商品開発するメリット
・高校および地元でのエシカル消費、SDGsの認知活動ができること
・半田市で最初にコオロギを使った商品開発を行うこと
・私達が地元へ新たな食材として「コオロギ」を認知できること

コオロギのプロフィール
約100匹から飼育をスタートさせました！

環境に配慮した優れた食材！

このページはコオロギを使った商品開発を行うきっかけやコオロギのメリット、活動を行うことのメリットをまとめています。

ヒアリング

株式会社グリスCEO 渡邊崇人様とのオンライン座談会

今後の方針
・最初にクッキーやマドレーヌにした理由は、お菓子としてコオロギを浸透させるため。
・コオロギの味優先かSDGs優先か
・どちらかというとSDGsだが、コオロギが入っていてもおいしいという感覚を持ってもらえることを目指している。
・最初に実施する商品開発は、知多半島に「コオロギ」を浸透させることを目的としたものにする

このページはコオロギについてヒアリングを行い、それを踏まえた今後の方針について考えたことをまとめています。

愛知県立半田商業高等学校

世界を救う **コオロギ**

プロモーション
販売実習
飼育
商品開発



ヨーロッパエコオロギの飼育

2021年1月下旬より飼育開始

良い感じに描かれてるわ!
飼育したコオロギがしっかりと食べられることを確認

飼育したものを使用したいが、商品開発をする際は、品質保証されたものを企業から仕入れて使う必要がある

このページはコオロギを実際に飼育し、環境的なメリットを体験、そして食材としてコオロギが成立するのかをまとめています。

商品開発①～クッキー・マドレーヌ～

何を開発するのか
STP分析を実施
S:知多半島在住
T:エシカル消費・SDGsについて
P:食べることのない人でも抵抗が少ないコオロギ商品

開発者の苦労
コオロギ粉の割合をどうすべきか
コオロギの香りがふわっと香る程度が良いのか
5%~10%の中でのようにするか話し合いを行った

このページはSTP分析を行って開発する商品を定め、中川屋様に御協力を頂き、商品試作に乗り出した過程をまとめています。

商品開発②

モニター調査の実施
2021年3月に希望生徒に対して、コオロギクッキーの試食会(モニター120名)

商品ラベル製作
誰でも手に取りやすい商品にするための工夫点
・青春を感じるパッケージに
・高校生の初志をイメージ
・手書きで柔らかな印象を伝える
・かわいいイラストに商品名は「ちゅうはじめの虫〜クッキーver〜」

このページは商品販売に向けて、半商生を対象にモニター調査を行ったことについてと商品に込めた想いについてまとめています。

販売実習

UMAMI MARCHE イオン半田店にて販売を実施

当日は小学生の方から高齢の方、親子でお越しの方などたくさんの方がお買い求めくださいました

土曜日曜に行われ、二日間で100個以上を販売

初めの販売実習を終えて次のステップへ
2回目の販売実習に合わせて商品開発を実施!

このページではイオンモール半田店様にて行われたイベントの反省とそれを踏まえた新たなステップについて説明しています。

予選審査での審査委員コメント

- コオロギを食材にするというかなり独創的なアイデアを、さまざまな主体と共同しながらしっかり商品開発や販売を行い、定着を図っている点が素晴らしい。
- 昆虫食のマーケットは今後拡大すると思われるが、昆虫食の存在を知り学び、それをきっかけに高校生が情報発信に取り組む姿勢を評価した。
- 温室効果ガスや食糧危機など世界的課題が背景の取組であり、地域食材ではないコオロギを飼育コストやCO₂排出量の観点に注目し、大学から知見を得て取り組んだ独創性が高い。

商品開発③・販売実習②

半田イオン動く車大集合!

コオロギドーナツのポイント
・地元産のパン屋(AGIペカリー)にご協力を頂き、開発
・食べやすいドーナツの形は丸く小さめ
・ドーナツは身近で食べやすくおごはんにもおやつにも向いている
・「コロちゃんドーナツ」というキャッチーな名前が好評

表敬訪問
愛知県公館に表敬訪問を行い、愛知県の文化発信に貢献し、コオロギの魅力を伝えるため、差別化を図ることができた。リポーターとして購入していただいた。

金山テストマーケット
金山のテストマーケットでは、3年全11ヵ月実施の「コオロギ」を販売し、反響が大きい。商業全体で協力してコオロギ商品のエシカル消費をアピールしていった。

このページは販売実習の反省を踏まえて新たに商品開発を進め、表敬訪問や販売実習を行ったことについてまとめています。

まとめと今後の展望

これまでの取組み
商品開発
コオロギを食べてみて欲しい
はじめての虫〜クッキーver〜
はじめての虫〜マドレーヌver〜
コオロギを食卓に並べたい
コロちゃんドーナツ

今後の予定
・私達の活動は、エシカル消費やSDGsを推進した購買活動としてもらうため、そのファーストステップが「コオロギ」を使った商品開発・販売であると考えています。
・情報発信「生活者のマスタナブル購買行動調査2021」レポートの「アップシフト」をきっかけにエシカル消費の購買意識・行動からエシカル・サステナブル消費をしようという意向は、実態と比較しても、潜在的なニーズがあることを知りました。
・それに対して、わかりやすくインパクトがある「コオロギ」でアプローチすることは、環境に配慮した消費者行動を促していることであると思われ、現在この活動を地域の方々の反応から行動すれば変えられるように頑張ります。

このページはこれまでの取組をまとめ、今後さらなるエシカル消費促進のための方針、そして私たちの想いを説明しています。

愛媛県立南宇和高等学校

柑橘類において、全国の教育機関で初めてグローバル GAP 認証を愛南ゴールド（河内晩柑）で取得。地元水産加工会社とコラボし、完成した愛南ゴールド真鯛をアフリカ大陸の大使館員に食べていただいたり、モザンビーク共和国選手団と国際交流できました。

東京五輪選手村の食材として愛南ゴールドを届け、各国の選手・役員の方々に食べていただくことができ、これからも農・水産物を作る責任を意識し、持続可能なまちを目指します。



GLOBAL G.A.P.

The Global Partnership for Good Agricultural Practice

国際認証取得
認定日: 2018年7月17日
認証品目: Oranges
GGN: 4059883325928

愛南ゴールド
和製グレープフルーツと呼ばれ、果汁が豊富でほどよい酸味が特徴

生産量 日本一

愛南ゴールドから始まる 持続可能なまちづくり

南宇和高校農業科 GLOBAL G.A.P. 認証取得
国際基準で安全・安心な河内晩柑・甘夏を生産しています！

愛南ゴールド大福

愛南ゴールド真鯛

国務大臣との意見交換会

2019年

2021年

大使館オンライン交流 モザンビーク選手団との交流

食品安全・環境保全・労働安全などの観点から農場に潜むリスクを洗い出し、軽減策を検討し、改善しています。

愛媛県立南宇和高等学校

予選審査での審査委員コメント

- 地場の生産物のグローバル GAP 認証に向けた4年前からの取組の成果を生かして、選手村の食材として提供し、オリパラ選手との交流に繋げるなど、地域活性化に大変貢献している。
- 地域に根ざしつつ、五輪選手村へのおもてなしなどの国際的な交流を通して地域の良さを発信する活動や世代間の交流の要素も取り入れた地道な取組が積み重ねられている。
- 全国高校初のグローバル GAP 認証の取得は、安全・安心な農産物づくりの実績であり素晴らしい。加工処理時の廃棄物を飼料にする「養殖魚の循環」も効果が高い。

発表概要

愛南ゴールド 愛南町 生産量 日本一

特徴 収穫期間が春から夏と長い 日本グレープフルーツ
さわやかな甘さ、果汁が多い

問題 少子高齢化、農業水産従事者の減少
農水産物の価格の低迷

生産量日本一を誇っている愛南町の愛南ゴールド。そんな愛南町ですが、人口減少、農業従事者の減少などの問題を抱えています。

GAP審査会

書類審査

公開審査

GAPシステム

現地審査

倉庫内確認

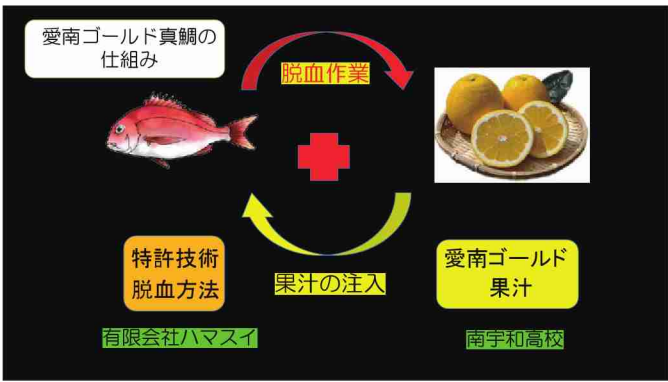
作業表示

農産物の国際的な第三者認証であるグローバル GAP 認証に挑戦。残留農薬、水質検査や労働安全などに取り組みました。

グローバルG.A.P 認証取得

国際的第三者認証 柑橘 全国高校初

柑橘類において、教育機関で初めて愛南ゴールド・甘夏で取得しました。



MEL 認証を取得している真鯛に、グローバル GAP 認証の愛南ゴールドの果汁を注入し、フルーティーな真鯛が完成しました。

コラボ商品

愛南ゴールド真鯛

愛南ゴールド大福

愛南ゴールドマーマレード

↓

六次産業化

愛南ゴールドの6次産業化を目標に、真鯛・大福・マーマレードなど地元企業と協力し、進めています。

選手村・出荷

←

選手村へ

愛南ゴールドを栽培・収穫・箱詰めし、オリンピック選手村に届けることができました。

交流活動

2019年

2021年

モザンビーク選手団との交流

大使館職員・自治体・高校 オンライン交流

モザンビーク選手、国務大臣や大使館職員と、ジュース・アイスクリームなどの愛南ゴールド加工品で交流会を実施しました。

まとめ

1. グローバルGAP 継続認証
2. オリンピック選手村食材提供
3. 国内・世界へPR

愛南町の農水産物は、作る責任を意識した、安心・安全なものになっています。これからも地域と協力しながら持続可能なまちを目指します。

徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校

エシカルなものづくりや、体験企画が増えてきている今、それらを根底から支え、消費や体験といった行動へと促進する本質的なもの。

それは、消費者への「意識変革」ではないかと考えます。私たちは普通科高校としての新たな切り口から、消費者と「エシカル商品」の生産者・販売者を繋ぐ実用的なアプリの開発を実践し、今後もこのシステムを運営し続けていけるような、将来性のあるプロジェクトを進めてまいりました。

アンケートはこちら



投票はこちら



徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校 エシカルクラブ2021

+1ハピ Get a little bit Better

みんなにもうひとつのハピネスを!

エシカル消費 一課題研究(基礎～発展)一

- 情報共有
- カードゲーム
- 絵本
- エシカル消費推進/実践研究

エシカル指標からマーカーへ

- 文化祭
- エシカル指標(版)に基づく商品販売
- 観点から見直し 何のため? 誰のため?
- 私たちは、エシカル商品を作るお店を応援したい! 多くの消費者に、エシカル商品を知ってもらいたい!
- 試作アプリ
- 葉っぱのエシカルマーカー Ethicaleaf & アプリ誕生!
- Ethicaleaf の基本構想
- Ethicaleaf 作成のためのチェックリスト
- 取材の様子
- 色と塗り分けの計画(マーカーリカラー)
- 実践したら、エシカル報告!
- これからやるよ! エシカル宣言。

エシカル消費 ICT活用

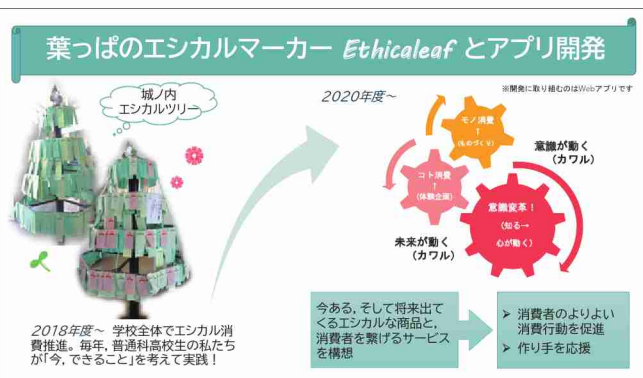
- デジタルエシカル宣言
- 完成イメージ
- エシカルツリー
- いつでも、どこからでも
- SNSでも発信
- 徳島の魅力を伝える、生徒企業イベント「とくまてん」広報
- 地域活性化をめざすアプリも進化!
- アプリ講座
- 「ナビ」ができました!

昨年、「エシカル報告」の花が咲いた城ノ内中等教育学校・高校「エシカルツリー」は、今年はなんとデジタルに!

予選審査での審査委員コメント

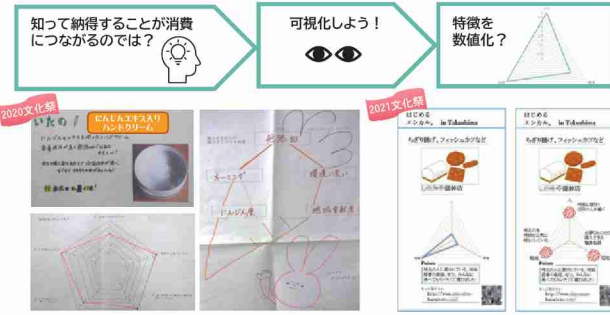
- エシカル消費を「見える化」するための評価指標を作成し、さらにそれをもとにアプリ開発を行い、エシカル消費とICTを連動させた発想力と技術力は大変素晴らしい。
- 指標作りの作業を通して主体的に考察し、エシカルは一律の判断基準で順位付けをするものではない。そのことに、生徒たちが試行錯誤や議論を重ねて気づいた点が素晴らしい。
- 地域の魅力の再発見やエシカル機運の高まりに繋がり、地域内での積極的な協働によって大きな波及効果が望めるだけでなく、全国での展開も期待できる点を評価したい。

発表概要



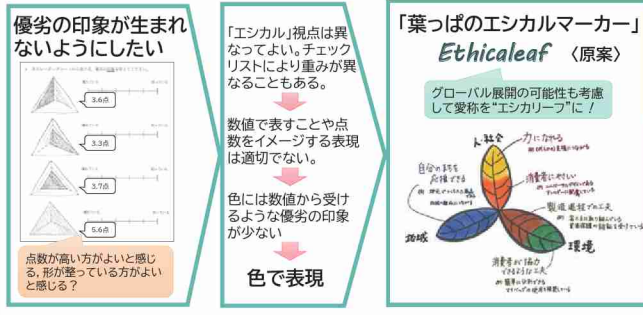
エシカルな「モノ消費←ものづくり」・「コト消費←体験企画」を根底から支える…第3のアプローチ「意識変革」。

文化祭向け「城ノ内版エシカル指標」の試作



2020…文化祭に特化。商品ごとにそれぞれの強みを示すオリジナル指標も考案。2021…汎用性のある指標作り。誤解を招く表現? 指標の意味がない?

「指標」から「マーカー」へ



“「指標」→数値”以外の表現を検討し、“色”と“葉っぱ”を用いることに。「マーカー」はサインペン等で色を塗ることをイメージして名付けた。

チェックリスト検討会→作成→調査実施



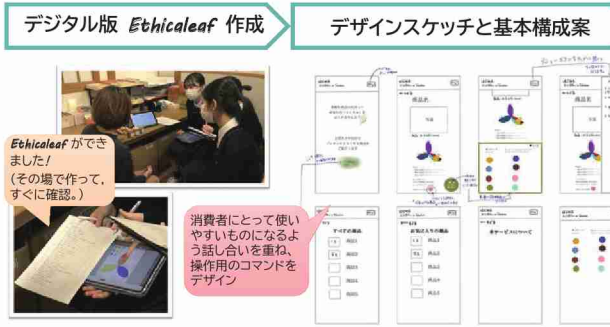
専門家の助言をいただき、消費者・生産者が共に納得できるような表現に推敲 → 取材を実施。

予備調査用チェックリスト作成→調査→デザイン等検討



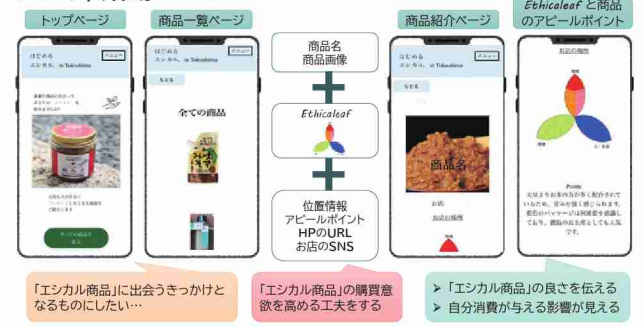
予備調査を経て、デジタル版の Ethicaleaf 作成に向けて研究開始。

アプリ制作準備



チェックリストをもとに Ethicaleaf を塗り分け → 一緒に確認。並行して、アプリ構成のラフスケッチを作る。

アプリ、始動! Ver.1.0



調査で得た商品の情報をまとめ、Ethicaleaf とともに掲載したアプリ Ver.1.0 が完成!

今後の展望



アプリ、公開。第1歩を踏み出したところ。今後、改善・発展を図ります!

福井県立福井商業高等学校

私達は視覚障がいの方々に地元デパートのリニューアル情報とコロナ対策情報を提供するため、触る地図を作製し、デパートを案内しました。

また現在はスーパーやドラッグストアの消毒液の配置場所を調査して「羽二重ネット」にアップしています。

そんな時、突然ローリングストックで非常用のビスケットが、ど〜んと舞い込んできました。でも災害時食と食品ロス対策メニュー開発は失敗の連続！！

はたして成功するのでしょうか???

アンケートはこちら



投票はこちら



み〜んな笑顔に

映画、ヘッドホーン、のよびが！

どっちが食べたい？

実は、どっちかは歯も刃もたちません...

2021年11月、非常用保存食のビスケットを頂き、食品ロス対策と災害時食メニュー開発スタート！

2021年4月、地元のデパートのリニューアルオープンから、視覚障がい者支援活動スタート！

館内のさわるマップを作り贈呈

デパートを楽しむ会

自衛官と共に防災講習会

10セット贈呈

大好きなお菓子の紹介も♡

納豆じゃなくマ...

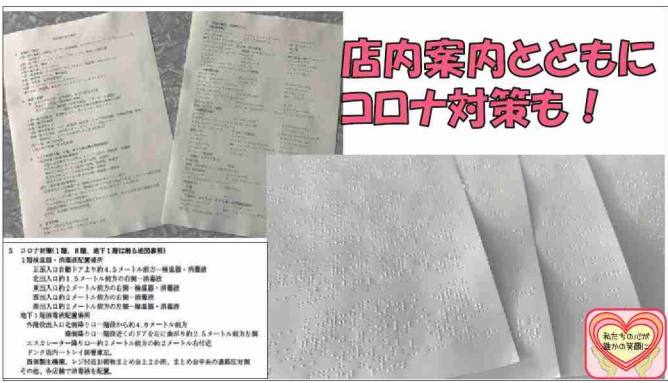
いつか私たちの気持ちが、だれかの笑顔に変わりますように... **福井県立福井商業高等学校JRC部**

- ### 予選審査での審査委員コメント
- とても優しい想いのある、身近な課題をちゃんと見据えた温かい活動であり、消費行動は本来誰にとっても楽しいものでなくてはならない、ということに改めて気づかされた。
 - 非常時に人々が耐え忍ぶだけでなく、ウェルビーイングの向上に繋がるなど、地域の様々な人たちが安全に暮らしていくための多様性をふまえた大変有用な取組である。
 - 誰一人取り残さないというSDGsの精神に則り、コロナ禍で、地元デパートと障がい者の方々の外出制限に着眼し。障がいのある人の買い物をサポートしようとする姿勢がよい。

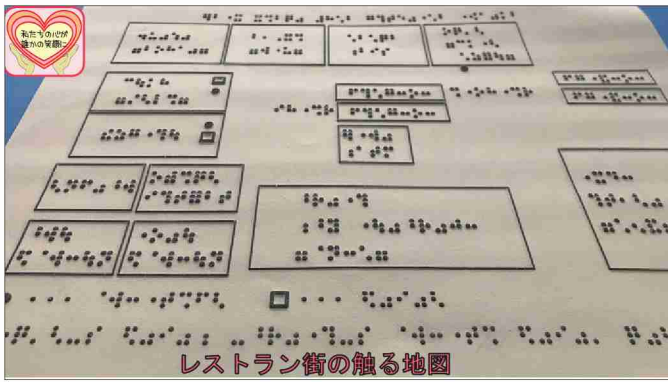
発表概要



アイマスクを使って歩いてみたら、いつも使い慣れているはずの消毒液の場所ですえたりつけなかったため、点字の資料を作ろうと思いました。



コロナ対策と新しくなった店舗の配置を説明する点字資料を作りました。消毒液の場所は距離を計って数値で入れました。



消毒液を○、検温器を□で表し、消毒液の多い1階、食品の地下1階、レストラン街の触る地図を作りました。



10月には、地図を使って視覚障がいの方とデパートを楽しむ会を行いました。「今度は全盲の人同士でランチに来たい」と笑顔があふれました。



スーパーの消毒液の情報も欲しいと言われたので調査を始め、福井県の視覚障がい者の羽二重ネットというサイトに載せています。



また自衛隊の協力で身の回りの物で寝袋や担架を作る防災講習会も行い、「災害は来て欲しくないけれど講習は楽しい」と好評でした。



突然やってきたビスケットですが、非常に堅いため、おいしく食べやすい方法がないか試行錯誤中です。



残念ながら失敗の連続です。レンビは福井市社会福祉協議会HPに載せてもらう予定ですが、果たして...

長野日本大学高等学校

私たちは長野のりんごの魅力を世界に広める活動をしています！

長野のりんごは蜜が多く、甘くて美味しいのですが2019年の「台風19号」の被害によって甚大な影響を受け、出荷予定だったりんごのうち96%が出荷できなくなってしまいました。

大好きな『長野のりんご』を助けたい！そして、その魅力を世界に届けたい！という思いからこの活動を行っています。

私たちが世界に向かって挑戦している姿を是非、御覧ください！

アンケートはこちら



投票はこちら



-長野の魅力を世界へ-

長野日大世界部りんごチーム

信州の名産品を世界へ発信する異年齢探究プロジェクト「世界部」 ～「未来へ続くりんご」を目指す、りんごチームのストーリー～

被災当時の厳しい状況

耕作放棄された農園の現状

「中村農園さんのりんごを絶対に世界に届ける！」
りんご倉庫の壁に想いを刻みました

長野の美味しいりんごを世界に！

現地に足を運び
りんご作業をお手伝い

販売に向けて
箱詰めを体験

イベントでの販売体験
販売の楽しさと難しさを知ります

農園さんとの対話の場
さまざまな想いを聞きました

何度も重ねた
チームの話し合い

中間報告のポスターセッション
ビジョンを伝えました

世界部りんごチームは、2019年秋、台風19号の集中豪雨によって壊滅的な被害を受けた長野市のアップルライン(りんご農家が集まる地域)の支援をしています。特に被害の大きかった長野市赤沼地域のりんご農園である中村農園さんの美味しいりんごの魅力を広く世界に発信することで、アップルラインを元気にしたいと願い、「中村農園さんの美味しいりんごを世界に届ける！」という目標のもと活動しています。

長野日本大学高等学校 せがいが

予選審査での審査委員コメント

- 地元名産品のりんごを世界に発信すべく、コンソーシアムの立ち上げやデジタルツールの活用、事前の海外リサーチによる当初計画の見直しなど、組織的・計画的な活動が素晴らしい。
- 実際に海外と交流し、りんごを海外で販売する厳しさに直面し、答えは足もとのりんご農園にあると気づき現場へと通うようになったという、海外からの学びを生かした点が評価できる。
- 台風で被災した地元りんご農園を救うため、デジタルツールを活用し幅広い世代に発信・販売・消費する活動を模索するなど、自分たちができるところを考えて取り組む主体性がよい。

発表概要

世界部とは？

長野の魅力を自分たちで見つけ、世界に伝える。
企業の海外展開や復興を自分たちで行うことで当事者として本気で関わる。

私たちは長野のりんごの魅力を世界に伝えたい！

WHY? 長野のりんごが大好きだから！
復興のお手伝いがしたいから！

2019年10月に発生した台風19号により長野の多くのりんご園が被害を受け、収穫されたりんごのうち96%が出荷できなくなりました。

台風による甚大な被害を受けた長野県赤沼地域のりんご農園さんと共にプロジェクトを行っています。

長野のりんごが大好きな私たちは、世界部としてその魅力を世界に発信していきたいと思いこの活動を始めた。また、2019年に発生した台風により被災した農家さんたちの復興にも携わっている。

ターゲットをシンガポールに!

WHY?シンガポール

日本りんごの価格調査をしたら、世界の中で圧倒的に高かった!

- 高品質・高価格なりんごなので、お手持ちの多い国に売ればいいのでは?
- 長野のりんごは生で食べた時の美味しさに魅力がある。生で輸出するなら近い国が良い!
- 中国や韓国はどうか? 2011年の福島第一原発の事故で輸出が規制されている...

シンガポールはどうだろう?

- 国民の8割が富裕層だから買ってくれそう!
- 多民族国家だからいろいろな人に広まる!

日本りんごの価格は世界中でも高いことがわかったため、富裕層が多く比較的距離の近いシンガポールをターゲットにすることにしました。また、多民族国家なので色々な人に広まることもメリットだと考えた。

実行① シンガポールについて調査!

NUS(シンガポール国立大学)の方とZOOMでビデオ会議を開き、現地調査をした。

<分かったこと>

- SNSはInstagramとFacebookがメインに利用されている
- 宣伝の際はこれらを利用
- 日本産の物に対して信頼感を持っている。
- 日本のお店(明治屋、ドンキホーテなど)がある。
- 加工して販売した方がいい!
- 現地で人気のお菓子はロリポップらしいのでりんご餡が良さそう

シンガポールの現地情報について調べるため、現地の大学生とビデオ会議を実施した。インターネットにはない情報などを得ることができて、今後の計画の材料集めとなった。

実行② 企業さんにアタック!

シンガポールに販路を持つ貿易会社の社長さんにアドバイスを頂いた(Facebookのメッセージでメッセージ)

- シンガポールにじゃないといけない理由は何?
- 長野のりんごは既に市場に出回ってるよ?
- 他のりんごとの違いは何?
- コンセプトは?
- 赤字になったらどうする?

理想が砕け散った...
自分達の甘さと厳しい現実を知った...

現地の貿易会社の方と海外輸出などについて質問したところ、海外でりんごを販売するにあたっての準備不足が判明した。認識の甘さと厳しい現実を知り、今後の計画を練り直した。

実行③ コンcept作り!

大好きなりんごがこの先も長く続くにはどうしたら良いか?
長野のりんごでは足りない理由を分かりやすいコンceptで表現

- 大好きなりんごがこの先も長く食べ続けられてもらうにはどうしたらいいか...
- 長野のりんごでは足りない理由は何だろうか...
- みんなに応援されるようなりんごにしたいわ!
- りんごの産地として農家さんが続けられるように!

『愛される+応援=未来へ続くりんご』

りんご・農園・産地地産アップルラインの「持続可能性」

小学生が歌を作ったよ!

「コンceptづくり」についての取り組み。頂いたアドバイスをもとにチームでの話し合いを行い、大好きな長野のりんごのあるべき姿を考えてコンceptを作り上げた。

実行④ 販売経験を積む!

まず、「商品を売る」とは一体どういうことなのか? 体験を以て学ぶことにした!

<販売実績>

- 活動の中国共済会で学校の先生たちへ販売。
- 「NAGANO EXPO 2021」でりんごジュースを販売。半日で完売!
- 2学期終業式に正門前で生徒や保護者へ販売。1時間で120個を完売!

<感じた事>

- 長野県民は家族がりんご農園を持ってたり、親戚からもったりするので元々りんごが多く家にある。
- 他のりんごとの差を作ることが大事だと考えた。
- お客様によってニーズが異なる。(子供にはジュースが人気など)
- 商品の魅力はシンプルに伝えたい方が伝わりやすい。

海外への輸出以前に、まずは「商品を売ること」について体験し、学んだ。実際に販売をしてみる事で今まで見えなかった視点を学ぶことができた。

実行⑤ 実際にビジネスプランを作ってみた!

シンガポールに再度挑戦!

りんごを販売したときにお客さんのニーズに合わせる事が大事だと学んだ
→購買者のニーズに合わせた商品を提供したい!

シンガポールの人がお金を使うのは春節の時!
→開運グッズとして売り出す!

- りんごに文字を入れる
- りんご餡にして売り出す
- 生りんごの輸出は色々規制が厳しい
- インパクトがある
- 美味しい!

購買者のニーズに合わせた商品を提供したいと考え、シンガポールの春節の時期に開運グッズとして文字を入れたりりんごやりんご餡として売り出すことにした。

今後の課題

- ① どうやって商品化に至るのかが明らかになる!
→ 作ってもらう企業はどうする?
りんご以外の原料はどこから仕入れる?
- ② 輸出を支援してくれる日本の企業、販売を支援してくれるシンガポールの企業を見つける!

今後の課題は、商品化する方法と輸出を支援してもらう日本の企業、販売を支援してもらうシンガポールの企業を探すこと。

宮城県農業高等学校

学校と地元は津波で流されました。東日本大震災から10年をむかえ、先輩の代からずっと被災地復興に取り組んできた活動が森と海を守る活動です。

日本の森林は儲からないために、手がつけられず、災害の度に土砂崩れが起こっています。

逆に海では土の地力が無くなり植物が育たなくなりました。

私たちの活動はこの二つの課題を解決したエシカル消費です。お互いの欠点を補うことで新たなイノベーションを起こして自然を守ります。



森林が作る被災地オレンジロードプロジェクト

1 課題

宮城杉は県内4.2万haに植えられています。森林を製材すると大量の屑を生じ、腐りにくく、産業廃棄物として処理されていました。黒川森林組合から連絡を頂き、宮城杉を守って欲しいと言われ農業に利用できないかと研究を始めました。宮城杉を堆肥化して作物を育てると、4倍の根重と2倍の草丈になりました。しかし、堆肥化には2年以上かかり、森林組合の経営負担です。1年以内で「宮城杉をエコフィードによって発酵させる方法を開発し、商品化してエシカル消費」を行いました。

2 仮説

宮城杉は炭素を多く含むため、発酵には窒素が必要です。窒素を多く含むエコフィードとして食品残渣の廃液に着目し、混ぜて堆肥化しました。

3 実験・検証

宮城杉を粉砕機で細かくしてから酵母、糸状菌、乳酸菌、納豆菌、担子菌を含めた複合微生物、廃液と共に加えてみました。内部温度は78℃まで上がり、2年以上かかる発酵を3か月で終了できました。

実証実験

「みやぎ・東北復興マラソン」が開催に合わせてコースに花を植えています。しかし被災地は雑草だらけ、大量の石、地力がない砂という課題が多い中、宮城杉の堆肥で花を育てるエシカル消費を行いました。

4 啓発活動

宮城杉の素晴らしさを広めるために宮城杉のプランターを40個作りコースに設置しました。全国初のオンラインマラソン大会になり、8000人に対してエシカルについて発信しました。宮城杉だけを発酵させて作った資材でイデアルグリーンと呼んでいます。この商品は商品化してインターネットでも販売されています。SDGsの9, 11, 12, 15番目に該当します。

予選審査での審査委員コメント

- 高校で学んだ知識とスキルを存分に生かして、地域の産業と自然環境をつなぐ循環を作り上げており、その発想と実行力がとてもいい。
- 木屑の産業廃棄削減に加え、窒素の多い食品残渣廃液の活用は、窒素処理が課題の製造業等にも展開しうる活動と言え、評価できる。
- さまざまな主体と協働しながらエシカル消費の新たな分野を開拓しており、「宇宙コスモス」やオレンジロードは、エシカル消費と復興のシンボルになると期待できる。

発表概要

1 宮城杉の課題

宮城杉は県内2.9万haに植えられています。森林を製材すると大量の屑を生じ、腐りにくく、産業廃棄物として処理されていました。黒川森林組合から連絡を頂き、宮城杉を守って欲しいと言われ農業に利用できないかと研究を始めました。

宮城杉を堆肥化して作物を育てると、4倍の根重と2倍の草丈になりました。しかし、堆肥化には2年以上かかり、森林組合の経営負担です。1年以内で「宮城杉をエコフィード発酵させる方法を開発し、商品化してエシカル消費」を目指しました。

宮城県には宮城杉すぎという森林がありますが、木材を製材するとき大量の屑が発生し、産業廃棄物として処理していました。

2 仮説の構築

有機物に含まれる炭素と窒素の比率を炭素率と呼び、高いと発酵しにくく、低いと発酵しやすくなります。宮城杉は炭素率が9.0と高く、土の中に入れても窒素が奪われ、作物は窒素飢餓を起こします。

そこで窒素を含むエコフィードを探しておくと産業廃棄物の廃液を見つけました。これには高い窒素を含み、宮城杉に加えれば発酵するのではないか、と仮説を構築。二つの産業廃棄物を組み合わせればアップサイクルになると考えました。

宮城杉は炭素率が高く発酵しないため、高い窒素を含む食品残渣液を使用して堆肥化してエシカル消費を目指しました。

3 実験と検証

廃液の成分調査

目的：食品残渣液に含まれる成分を調査しました。
対象：野菜クズ、パンクズ、果物クズ
調査方法：成分を分析を依頼
調査項目：窒素、リン酸、カリウム

成分名	成分量
窒素	8.9%
リン酸	0.9%
カリウム	0.7%

生育調査

宮城杉と廃液を混ぜて種を撒きますが、試験区と比べて20%以下の生育となり、途中で枯れてしまいました。原因として廃液の高い窒素成分により生育阻害を受けていました。廃液を徐々に薄めて再調査しますが、何度やっても失敗の連続です。

植物の生育調査

試験区	10/8	2/8	3/8	4/8
試験区1	3	7.5	0.4	0.4
試験区2	2	13.2	25.7	30.0

食品残渣液を調べると高い窒素を確認しました。さっそく、宮城杉と混ぜて生育試験を行います。根腐れして失敗しました。

3 実験と検証

再度発酵実験

宮城杉に酵母、糸状菌、乳酸菌、納豆菌、担子菌を含めた複合微生物、廃液と共に加えてみました。内部温度は78℃まで上がり、2年以上かかる発酵を3か月で終了できました。

粉砕実験

宮城杉を粉砕機で細かくすることで、表面積を増やして早く発酵が進むと考えました。できるだけ、細かく粉砕したほうが、圧倒的に早く温度が上昇して発酵終了することができました。

宮城杉を発酵させるために様々な菌を入れて発酵実験を行い、3か月で発酵を終了することができました。

4 啓発(エシカル消費)

エシカル消費

「みやぎ・東北復興マラソン」が開催に合わせてコースに花を植えています。しかし被災地は雑草だらけ、大量の石、地力がない砂という課題が多い中、宮城杉の堆肥で花を育てるエシカル消費を行いました。選んだ植物は大会イメージカラーがオレンジなので黄花コスモスを選びました。

エシカル実践

大会が10月に開催なのでコスモスを植えます。発酵させた宮城杉と土を混ぜてプランターに播種しました。

被災地に植えたコスモスでも生育調査を行いました。宮城杉を入れたほうが長く、大きく成長しました。エシカル消費の成功です。

宮城復興マラソンにおいて宮城杉を使用してエシカル消費を目指しました。宮城杉を使ってコスモスを育てました。

4 啓発(エシカル消費)

オンラインマラソン

コロナの影響により去年から全国初のオンラインマラソン大会になりました。走りきるとスペシャルコンテンツとして動画を見ることが出来ます。今年度、マラソンに参加した8000人に発信しました。

宇宙コスモス

昨年11月に宇宙飛行士の山崎直子さんから連絡を頂き、コスモスの種をファルコン9に乗せて、国際宇宙ステーション「きぼう」に1か月間保管してもらいました。フライト証明書を「宇宙コスモス」として発信しています。

コロナの中、日本初のオンラインマラソンを実施して8000人が参加してエシカル消費を発信しました。

4 啓発(エシカル消費)

ネスレとコラボレーション

今年度はネスレから連絡を頂き、手書きメッセージとコスモスの写真が掲載されたキットカットを商品化。メッセージ付きコスモスの種10粒と共に全国のランナーへ配布しました。

オリジナルキットカットの商品化

プランター40個分において使用した宮城杉は105kg、110,000円が新たな林業の収入源となりました。以上から研究目標である宮城杉の発酵法を開発し、地域における販売力強化のための啓発活動を行うことができました。

オレンジロード完成

プランター40個分において使用した宮城杉は105kg、110,000円が新たな林業の収入源となりました。以上から研究目標である宮城杉の発酵法を開発し、地域における販売力強化のための啓発活動を行うことができました。

ネスレとコラボしてコスモスの種と専用のキットカットを商品化して、ランナーに配布しました。オレンジロードも完成しました。

5 まとめ

1. 宮城杉のエコフィード発酵法を見つけた
2. 宮城杉を被災地でエシカル消費した
3. 啓発活動によりエシカル商品とし販

最後に

本研究で工夫した点は林業で宮城杉を農業で使用する事で里山と農村を助け合う関係にしたこと、二つの産業廃棄物を合わせて新たな命を吹き込むアップサイクルにしてエシカル消費をした発想です。そこで、私達は3つのCを掲げます。永久的な農業の可能性を発見してくれるCarbon。環境と人体に優しい農法を目指しClean。農業と林業の新たな文化を作り出すCulture。3Cを心に秘め今後も活動と研究を行います。

SDGsの9, 11, 12, 15に繋がります。宮城杉と食品残渣液の二つを合わせることでアップサイクルにして、宮城杉を守っていきます。

各ブロック次点校の紹介

北海道・東北ブロック	市立札幌藻岩高等学校
関東ブロック	栃木県立栃木農業高等学校
甲信越・北陸ブロック	山梨県立甲府第一高等学校
東海ブロック	静岡県立富岳館高等学校
近畿ブロック	大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
中国ブロック	広島県立祇園北高等学校
四国ブロック	英明高等学校
九州・沖縄ブロック	沖縄県立那覇国際高等学校
開催県枠	徳島県立城西高等学校
グローバル枠	川崎市立川崎高等学校

北海道・東北ブロック 市立札幌藻岩高等学校

私たちは未来を担う若い世代に向けて、身近な環境問題やSDGsについて知るきっかけを作り出そうと活動してきました。活動の1つである「服集めて福来る」プロジェクトでは、回収した古着10%、ペットボトル90%からなる生地を使用し、人、もの、環境を繋ぐ「お結び巾着」の開発、販売をしました。今後は、自分の「好き」と環境を結び繋げる「場」を創り、環境問題に対し行動しようとする仲間を増やしていきたいと思っています。



服集めて福来る

市立札幌藻岩高等学校

◎Beeeeeの結成

2020年9月学校祭にて、日本経済新聞社が実施する「未来の社会」をテーマにした調査を実施し、大量の古着が回収された。その解決の一環として「BRING」という服を非営利でリサイクルできる仕組みを立ち上げた。そして、調査の結果から「未来社会」に求められる未来を担う若い世代に取組を促すというメッセージが込められ、そのメッセージに共感した女子リーダーが中心となり、Beeeeeが結成された。

◎活動の発信

活動を始めて、様々な人と結びつきが生まれ、多くの発信の機会を得た。日本経済新聞社が実施する「未来の社会」の調査結果を参考に、Beeeeeの活動が「ソーシャル企業力」へのプレゼンテーションで発表された。また、ラジオでも放送された。ラジオも交えたBeeeeeの活動を発信した。

◎商品開発・販売への挑戦

人と環境と地域を繋ぐ「お結び巾着」を開発。回収した古着の生地を再利用し、古着のデザインをアレンジしてオリジナルの商品を開発した。また、古着の生地を再利用し、古着のデザインをアレンジしてオリジナルの商品を開発した。また、古着の生地を再利用し、古着のデザインをアレンジしてオリジナルの商品を開発した。

◎これからの挑戦

魅力あるオリジナル商品の開発、地域の特産品の後押し、若い世代を巻き込むことにも挑戦している。あとは、「循環」だけでなく、それほどたくさんの古着が出る背景にも注目してほしい。

BEEEEEES

予選審査での審査委員コメント

- 学校祭での講演をきっかけにさまざまな具体的な行動を積み重ね、周囲を巻き込んで活動する姿に強いエネルギーを感じる。実際に周囲の中学高校にまで取組が広がっており、着実に成果が上がりつつある点を評価したい。
- 販売促進のために名産品を組み入れたことで、ファッションロス削減の課題と同時に、地域の課題も解決できる。地道な取組から活動の輪が一步一步広がり、地域の人々との連携が深まっていく様子などに好感が持てるとともに、今後の継続的な展開が期待できる。
- BRINGの一環で活動するだけでなく、魅力的なオリジナル商品の開発、地域の特産品の後押し、若い世代を巻き込むことにも挑戦している。あとは、「循環」だけでなく、それほどたくさんの古着が出る背景にも注目してほしい。

関東ブロック 栃木県立栃木農業高等学校

とちぎ菓の街、先人が伝える不傳の伝統工芸品を次世代へ

～専作専地が創る新たなビジネスプロジェクト～

栃木県立栃木農業高等学校 農業環境部地域デザイン班

テーマ① 《栃木市伝統技術を学ぶ》

栃木県は、鹿沼市の「鹿沼帯」や都賀町（現栃木市）「都賀の座敷帯」など全国有数のほうき産地でした。これらの帯は、帯の根元にある「蛤（はまぐり）」という草が細かく編み込まれた部分が大の特徴であり、他の帯にない美しさ・丈夫さを有しています。しかし、現在では、生活スタイルの変化などにより、帯を見かけることは少なくなりました。今では職人さんは数えるほどになってしまい、帯（ほうき）の原料となる草（ホウキモロコシ）を栽培する農家さんも高齢になり引退するなど、その数は数えるほどになってしまいました。また、近年国産帯（ほうき）の需要が増えており、特に都心近郊への販売が急務となっています。そこで、私たち高校生がホウキモロコシの栽培と座敷帯の伝統技術を学び、地域小中学校等と連携、栃木市特産品を全国に発信していきます。

生産者農場視察

ワークショップでの発表

テーマ② 《栃木市有機農業を確立する》

化学肥料・化学農薬を使用せずに、自然の力と有機物を利用する循環型農業を開発する。本校の圃場にて試験栽培しながら、栃木市の有機栽培農家さんと連携し、有機栽培を学習します。また、地域イベントへ参加することでヒトとモノの繋がりを深めていきます。

校外圃場での共同栽培

小帯作り勉強会

地元小学校との交流授業

《活動理念》

学校で得た学びを地域に還元する、又は地域から得た学びを学校に還元する。農業高校に入学したからには、農業で生きる術をとことん磨き抜く。自分に何ができるか、やれることをやる。地域を見つめ直し、世界を見よう。

詳細の動画はコチラ

私たち農業環境部は、「学校で得た学びを地域に還元する。地域から得た学びを学校に還元する。超農力で地域を見つめ直し世界を見よう」を理念に草の根活動をしています。伝統工芸品の後継者問題と耕作放棄という環境問題の2つの大きな地域課題を一挙に解決すべく、とちぎの伝統工芸品である座敷帯の原料ホウキモロコシの無農薬無化学肥料栽培や帯作りワークショップ、地元小学校との交流授業、大学連携等幅広く活動しています。



予選審査での審査委員コメント

- 持続可能な農業への対応はEUでも高く評価されている。「伝統工芸品の後世への伝承」と「耕作放棄地活用のための模索」という二つの課題を解決するための新しいビジネスモデル構築に昨年度から継続して取り組んでいることがうれしく思う。
- 農産物が支えていた地場産業の衰退を懸念し、伝統工芸品の伝承と耕作放棄地の活用と、農業高校の特色を生かした地に足がついた取組で評価できる。しっかりとした調査研究の基盤の上でのアクションであることも素晴らしい。
- 一般市民に向けた勉強会や職人を招いての学習会は、地域との繋がりがやがたりが見られ、今後の継続的な展開が期待できる。また、大学との共同研究についても、連携障害の解決等の広がりが期待できる。

甲信越・北陸ブロック 山梨県立甲府第一高等学校

Life with MYBOTTLE

私たちはペットボトル使用量削減に向け、マイボトル普及活動を行っています。日頃はプラスチック問題に関する情報収集を、マイボトルサービスタウンで行っているカフェ訪問や地域のゴミ処理センターなどの実地調査を通じて行っています。最近では校内に設置した粉末飲料の販売を始めました。現在は校内活動と同時に地域にもマイボトルを普及させるための方法として、ササキリブションを考えており、その実現のために調査をしています。

山梨県立甲府第一高等学校 探究科 二年

甲府第一高校は、約140年の歴史を持つ県下の伝統校です。勉強だけでなく、部活動や行事も活発で、中でも男子が約104km、女子が約42kmを踏破する「強行遠足」は県内外に知られています。普通科と、私たちが在籍する探究科の2つの学科があり、探究科ではSDGsに関する課題を各班で設定し、解決方法を探るといった活動に取り組んでいます。私たちの班では、活動の一環としてペットボトル削減を目的に購買で粉末飲料を販売しています。



予選審査での審査委員コメント

- 海洋プラスチックの問題を海でなく、川で活動することで良い気づきに繋がっている。課題に対して、地域でできることから少しずつ活動を広げていること、活動に参加している高校生がよく考え学んでいることが素晴らしい。
- 高校生に身近なマイボトルの問題を取り上げ、大学教授によるレクチャーを受け、課題を再認識した新たな知見を得て、リユースする方向性を導き出すだけでなく、具体的な普及方法や中身が無くなってしまった時のマイボトルスティックの利用など、着実な取組を評価したい。
- プラスチックごみの削減に向けて、行政や学識有識者へのヒアリングを行うとともに、実際に校内でマイボトルスティックを販売するという実績に繋がっている点が評価できる。今後、この取組を継続することによる更なる展開に期待したい。

2030年の富士宮 エシカル消費から見る持続可能な農業を目指して

静岡県立富岳館高等学校 富岳特産物研究会

「2030年の富士宮の農業」
2030年という年は、国連が定めた世界共通目標SDGsの達成年である。そのなか、SDGsは「2030年までに達成したい」という約束である。その約束を達成するために、今から準備が必要である。その一つが「持続可能な農業」である。持続可能な農業とは、環境を壊さずに、将来にわたって生産を続ける農業のことである。持続可能な農業を実現するために、私たちは「エシカル消費」を推進している。エシカル消費とは、環境や社会に配慮した商品を購入することである。エシカル消費を推進することで、持続可能な農業を実現することができる。私たちは、エシカル消費を推進するために、地域の特産物を活用し、商品を開発している。また、地域の特産物を活用し、商品を開発している。また、地域の特産物を活用し、商品を開発している。また、地域の特産物を活用し、商品を開発している。

「研究課題」
「SDGs教育の実践」
「基礎実践」
「商品開発」
「地域からの情報発信」
「今後の展望」

静岡県富士宮市はニジマスの生産量日本一を誇る。しかし、ニジマスでまちづくりを推進している一方で、その残渣（おもに頭部や骨、内臓等）が大量に産業廃棄物として廃棄されていることが課題であることがわかった。本来廃棄予定だったものを地域資源として、そこから有用なエコ堆肥を作り、特産物栽培に活用した。それを使って環境や社会に配慮した商品開発へとつなげ、エシカル消費の推進から循環型農業の基盤を作る。

予選審査での審査委員コメント

- 地域の特産物を活かし、地場企業や地方自治体とエシカルの観点で協働を進めていること、課題意識を持ち科学的根拠も検証しながら取り組んで成果を上げているのが素晴らしい。また、国際会議等に参加して世界に発信する姿勢も意欲的で評価できる。
- 川魚を活用した堆肥登録は日本初とのこと、着眼点が独創的で評価できる。産業廃棄される魚の残渣を活用した堆肥づくり、落花生の殻の余りを土に戻す実験を進めるなど、徹底して循環型農業に貢献する姿勢が見られる。
- 地域の特産物を生かし、さまざまな事業者とも連携しながら、地域に定着しうる商品開発を具体的に進めて大きな成果をあげており、今後の地域活性化に繋がる取組である。ニジマスと落花生という富士宮の特産品のPRにより一層繋がって欲しい。

私たちは、大阪府堺市の伝統地場産業である「包丁」と「線香」を学ぶ「堺学」という授業を行っている。「東日本大震災」以来、「復興支援プロジェクト」を立ち上げ、毎年「堺学」の授業で製作した「包丁」と「線香」を、郵送ではなく被災地を訪問して、直接手渡している。これらの活動を通じて、自然災害を減らすには「環境問題」に取り組むことが大切だと考え「バイオディーゼルの発電機」と「プラスチックゴミ油化装置」を製作した。



大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程 コロナに負けるな！「エシカル」プロジェクト～地域とともに～



予選審査での審査委員コメント

- 「微力だけど無力じゃない」は胸を打たれた。夜間定時制の制約のある中、専門学科である工業科の特性を生かして、地場産業や地域への支援活動を行うなど多岐にわたる取組に尽力しており、敬意を表したい。
- プラごみから油を作り、不要な油から電気を生み出す機器の開発は課題解決に直結して素晴らしく、他の学校や地域にも波及しうる活動であり、地元商店街を巻き込んだ活動が多々見られ、環境啓発・防災への効果もあり評価できる。
- 昨年度「エシカル甲子園2020」の発表内容に関する取組から引き続いて、地域に根ざした実践が行われている様子が見え、今年度、取組による主体性や変容性など、「さらにどう変化したのか」が見られると良いと思う。

広島県立祇園北高等学校では、理数コースや科学部・マイコン部などが中心となり、あらゆるジャンルの探究活動を行っています。今回の探究活動は、マイコン部と生徒会がタッグを組むことで、長年、本校で行われていた「フレンドリーブリッジ」プロジェクトと呼ばれるエシカル活動の歴史を紐解き、発展させるための探究を行いました。この歴史を後輩に伝えることで、今後も長く活動が続けばと願っています。

広島県立 祇園北高等学校

【プロジェクト名】
「フレンドリーブリッジ」

【担当】
生徒会&マイコン部
連携事業



概要
本校では毎年、卒業生の不要になった体育館シューズを回収し、きれいに洗った上で、発展途上国に寄付する活動(フレンドリーブリッジ)を行っています。
昨年度と今年度、コロナでの活動制限をきっかけに、「このプロジェクトはいつからどうやって始まったの?」という疑問が生じた。そこで今年度、過去の校長先生や事務局の方とアポを取り、このプロジェクトの歴史を紐解く活動を行うことで、後輩に伝えたり、さらに発展させることはできないかと考え、活動を行った。

予選審査での審査委員コメント

- 27校の高校が協力するなど波及力も高く、途上国支援の活動が先輩から後輩へと受け継がれ、後輩たちが先輩の活動の足跡を辿りながら学びに発展させている「伝統継承」が素晴らしい。自校の活動として、自分たちも活動に参加し、普及啓発などの活動に繋がるとさらに良い。
- 17年間続いているプロジェクトを、在校生の認知度が低下してきているなか、「つなぎ直そう」と活動を継続させ、次の世代に継承していこうとする着眼点が素晴らしい。これまでの経緯や歴史を学んだので、次に自分たちは何をすべきか、考え行動することを期待したい。
- 活動の意義もさることながら、そこに横たわる物語性を調べあげた取組は素晴らしい。ここで知ることができたストーリーを伝え、アップデートしていくことが、靴を履く人たちへ思いを馳せ、また送り先のニーズをフィードバックしていくことに繋がると考える。

英明高等学校
「粉」から「世界」へ紡ぎ・広がり・繋げる

エシカルってなに??
エシカルとは、日本語で論理的・道徳的を意味する言葉です。そして、エシカル消費とは、消費者それぞれが社会的な課題に気づき、社会的課題の解決を考慮したり、地域の活性化や雇用などを兼ね、人、社会、地域、環境に配慮した消費行動のことを指します。これは2018年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち、特にゴール12に関連する取組です。

持続可能な開発目標(SDGs)の12番目は「つくる責任 つかう責任」
2018年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のうちから、資源やエネルギー、気候変動、平和的消費などを含めて、「持続可能な生産・消費の確保」が掲げられます。

12 つくる責任
つかう責任

① 沢山の教室から出たチョコの粉を再生できないかと試みた
そこに乾燥させたうどんを使用してみるも上手くいかず!!

② 教員も巻き込んでエシカルに挑戦してみよう!
③ 加盟店に協力していただき文化祭で様々な人にエシカルを知ってもらおう!!

④ 伝統工芸品(米多量)を使い消臭袋を作った!
エシカルという活動が広がり、世界と繋がって行くのを実感できた!

先制りに授業中にも製品を売っていただけ!

本校は四国で最大級の生徒数が在籍する全日制普通科の学校です。全国のどの学校でも再現可能なエシカル消費の取組を提案することを目標として取り組みました。またその取組が本校だけに留まらず、多くの人や場所に広がっていきけること(持続可能性)を意識し、①再生チョークをつくろう(再利用)、②消臭袋をつくろう(地産地消)、③地域や世界と繋がろう(地域連携・フェアトレード)、の3点をテーマとして実施しました。

予選審査での審査委員コメント

- ユニークな発想を起爆剤にして、身の回りからの取組に繋がっている。「学校現場で消費されているもの」に着目した再生チョークや消臭袋の作成は、高校生ならではの視点でもとてもユニークである。
- ごく身近な材料を使い、地域の伝統工芸品もからめ、協力者や連携先を少しずつ広めて一歩一歩手作りで課題解決に向けて活動を行っていることは高く評価する。今後の展開に期待したい。
- チョーク、うどん、コーヒーの粉三昧をもとに、使用済みチョークとうどんを混ぜて再生、地元産物を利用して袋づくりコーヒー粉で消臭製品を開発しており、いずれも身近でできる取組で汎用性が高く、評価できる。

私たち那覇国際高校家庭クラブは、沖縄のお盆や清明祭で用いる「重箱料理」の食品ロスについて調べ、「重箱料理から食品ロスを出さない工夫を広く県民に発信し食品ロス対策の機運を高める」ことを目標にリメイク料理の研究に取り組みました。

①製造や販売の企業へ声を届ける②消費者の意識向上のための情報発信の両輪で研究を進めました。消費者市民社会の構築のためのちいさな歯車になれば良いかと願っています。



予選審査での審査委員コメント

- 伝統行事における食品ロスという、大人があまり意識してこなかった問題に着目し、高校生ならではの方法で地域にアピールした活動が良い。文化に根差した発想の転換には困難もあるが、ロスをリメイクするだけでなく、大量消費という行動変容に踏み込める可能性を感じた。
- 地域の伝統料理にスポットを当て、エシカルについて考え、調査研究するという取組であり、マスのみならずネットを使った啓発・普及活動など、高校生らしい取組とアイデアで、今後の活動の継続・広がりを期待したい。
- 供給側と消費側それぞれの立ち位置からアンケートによる意識調査も実施して分析し、現実的な解決策を提示している。今後、販売後の料理のリメイクだけでなく、事業者の方でも「残さない工夫」ができるようなアプローチも期待したい。

アンケート型吸い殻回収ボックスで
タバコのポイ捨てを減らす

川崎市立川崎高等学校 黒川ゼミ
黒川翔太先生、米山春帆、吉田昂生、前田凜

1. タバコのポイ捨てがもたらす影響
2. 持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献
3. アンケート型吸い殻回収ボックスの設置
4. 川崎市立川崎総合科学高校、横浜国立大学との連携
5. 今後の動き

「かわさきよいまちプロジェクト」と題し、ゼミ形式で総合的な探究の時間に取り組んでいます。「川崎市を良くしたい」という目標をかかげ、さまざまな地域の課題にはたらきかけています。校内での発表会をはじめ、川崎市長にプレゼンし指導・講評をいただく機会や、横浜国立大学との連携を通じたより深い探究活動をおこなっています。また世界的な視点から地元を見るグローバル部も、学校の中心としてエシカル消費に貢献しています。

予選審査での審査委員コメント

- 通学途中に目に付く「タバコのポイ捨て」という身近な問題に着目し、人々の行動変容を強制することなく後押しする「投票型の吸い殻入れ」によって解決しようとする発想がユニークで良い。
- 自治体及び他校も巻き込みながらの取組であり、行政とのやり取りで顕在化した課題に対して、他校とも連携して技術的な解決を目指している。今後実用化の可能性もあり、波及効果もより高まることが期待できる。
- 課題解決に向けてポイ捨ての実態調査から着手し、工業系の高校と連携するなど創意工夫を凝らして取り組んでおり、行政をも動かして実効性のある取組を探究している点が素晴らしい。

本校は農業4学科と総合学科を併設した総合高校である。平成27年度より各科の特色を生かした「エシカル消費」に関する学習活動に取り組んでいる。校内で栽培した野菜や果樹の中で、規格外で販売できないものを使用した商品の開発や伝統技法の天然灰汁発酵による藍染め製品の製造、また校内農産物販売所「そよかぜ」では「エシカル消費」をコンセプトとした運営を行っている。詳しくは、本校ホームページを御覧ください。

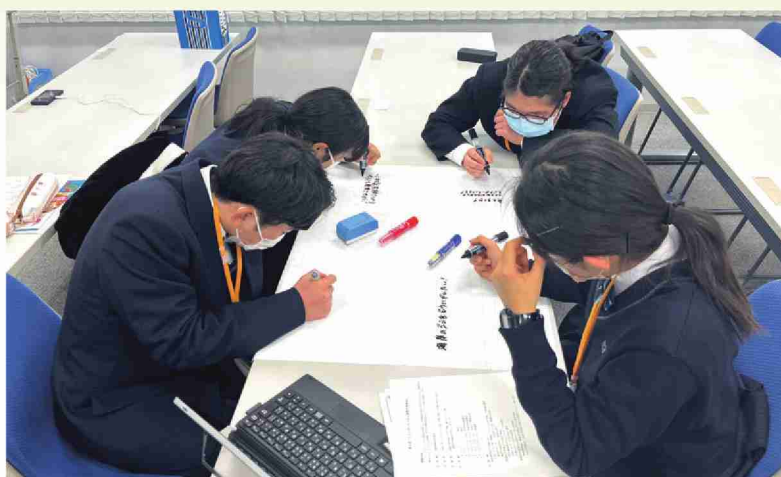
城西高校オリジナル「エシカルカレー」

「エシカルカレー」とは

- 「地産地消」学校で栽培した野菜・果実を中心に食材は全て徳島県産。
- 「食品ロス削減」使用する食材全て、規格外品。
- 「障がい者との繋がり」障がい者授産施設に加工を依頼。
- 「フェアトレード」フェアトレードのコーヒー、寄付型のチョコレートを使用。
- 「災害時の防災食」非常食として校内で備蓄。食物繊維を多く含む、避難時の体調維持に寄与。

予選審査での審査委員コメント

- レトルトカレーという着眼点は、保存・食べやすさの観点から普及の可能性も高く素晴らしい。収穫時期の異なる野菜を適した方法で保存し、食品ロスのネックとなる「保存期間」の問題を克服しようとした点も評価できる。
- 災害の影響を受けやすい梨、伝統的な保存法を使う大根、障がい者施設の協力を得て加工するカボチャと農業科ならではのそれぞれの作物の性質に着目した加工や食品ロス対策に感心した。
- 「エシカルカレー」の名称が分かりやすくエシカルという言葉の啓蒙にもなる。また、非常食やフードバンクという用途もよく考えが練られていて、幼児高齢者向けの味づけには優しさを感じる。人々の多様性や、作物の個性に寄り添った取組に、心が温かくなった。



徳島県では、全ての公立高校に、各校の特色を生かしてエシカル消費の研究・実践に取り組む「エシカルクラブ」が設置されています。

「とくしま・エシカル高校生委員会」は、各校の「エシカルクラブ」から意欲ある生徒が集まり、徳島県全域をフィールドに、エシカル消費の推進に向けて活動することを目的に結成された組織です。

今年度は、「商品調査部」「動画企画部」「商品開発部」「環境部」の4つの部門にわかれて活動を行っています。



交流タイム【14:10~14:50】

交流タイムでは、本選出場校と次点校が、ファシリテーターやパネリストとともに本選出場校の発表を受けて、エシカル消費を普及・啓発していくためのヒントについて意見交換を行います。



ファシリテーター

柿野 成美 氏

- 公益財団法人消費者教育支援センター 専務理事・首席主任研究員 博士（政策学）
- 消費者教育推進委員会委員
- 文部科学省消費者教育推進委員会委員
- 日本エシカル推進協議会理事

中央省庁や地方自治体の消費者教育用教材の作成、高等学校家庭科、中学校技術・家庭（家庭分野）の教科書執筆、教員や地域の消費者教育の担い手等を対象にした講演会、消費者教育推進法を受けた地方自治体の計画策定支援など、子ども達の消費者としての自立を目指して、全国各地で幅広く活動している。

テーブルファシリテーター

栗飯原 俊輔 氏

- 徳島県消費者情報センター研修生
- 徳島県立城東高等学校教諭
- 消費者教育コーディネーター

平成8年度より徳島県の県立学校公民科教諭として勤務する。主に「総合的な学習（探究）の時間」の担当として各勤務校の地域性や特色を活かし、キャリア教育・地域交流・国際交流を組み入れたカリキュラム開発や授業実践に取り組む。令和2年度より徳島県消費者情報センターに徳島県立学校教員長期社会体験研修生として配属される。講師として学校における出前授業を2か年で約150件実施するとともに、消費者教育コーディネーターとして関連諸機関との調整・折衝を行うなど消費者教育の推進を図っている。

パネリスト

ゲイル・チュワ 氏

- 徳島県危機管理環境部消費者くらし安全局消費者政策課 国際交流員
- デ・ラ・サール大学在学中に北海道大学へ1年間留学 地域文化を学ぶ
- フィリピンで買掛金アナリストに5年間従事

日本文化に興味を持ち、大学在学中は日本研究会で活動。北海道大学留学中の農業体験等を通じた地域文化の学びや、フィリピンでの通訳、買掛金アナリストとしての経験を生かし、現在、徳島県消費者政策課で国際交流員として消費に関して日本と世界をつなぐ役割を担っている。

パネリスト

藤川 華杏 氏

- とくしま・エシカル高校生委員会委員長
- 徳島県立城ノ内高等学校2年生

とくしま・エシカル高校生委員会の委員長として活動の取りまとめ等、リーダーとして活躍している。

ワークシート

エシカル甲子園 2021

グループ ○○高校 △△高校

本選プレゼンテーションを観てエシカル消費を全国、そして世界へひろげるヒントをつかもう！



メモ

■ 審査の観点

- 主体性・協働性・波及性・独創性・変容性・表現

■ 表彰

- 内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞
- 消費者庁長官賞
- 徳島県知事賞
- 徳島県議会議長賞
- 徳島県教育委員会教育長賞

■ 特別賞

- 日本エシカル推進協議会会長賞
- エシカル甲子園特別賞

■ 賞状紙

- 海外でも注目される、藍染和紙
藍染和紙には、世界中のアーティストから深い関心が寄せられています。



阿波に脈々と受け継がれる、藍、和紙を藍で染める。



藍染師 藤森美恵子

アメリカ・フィラデルフィアの版画家でありブックアーティストのアリス・オースティン氏がアワガミを訪れ、藤森美恵子の指導により藍染め体験を行いました。その模様がレポートされた映像です。



■ 副賞

- とくしまオンリーワン LED 製品
第9回認証取得製品「藍染花 LED 花と踊り子」



「高品質な徳島県産 LED 素子」を使用し、独自性や市場性、信頼性が高く、県立工業技術センターの性能評価により高い省エネ性能が確認された「LED 応用製品」を「徳島県が認証」し、統一の認証マークを表示

とくしまオンリーワン LED 製品の詳細はこちら



写真 (花と踊り子)

伝統ある「灰汁発酵建染」という手法で染色されたフラワーショップ慶の商標登録商品「藍染花」がフルカラーのLEDで七色に美しく輝きます。

■ エシカル甲子園優良団体賞

- 3回目の本選出場となった学校を表彰します。
令和3年度受賞 博多女子高等学校

■ 本選参加記念

- フラワーショップ慶
商標登録商品「藍染花 ハーバリウム」

伝統ある「灰汁発酵建染」という手法で染色し、化学染料は一切使用していません。藍染の無限の濃淡を組み合わせることにより、淡色だからこそ味わうことのできるシンプルで素朴なイメージを表現しております。



代表取締役
米川 慶子

国家検定 1 級フラワー装飾技能士検定委員
2008年：厚生労働大臣賞功労賞 受賞
2020年：卓説した技能者「現在の名工」受賞



ハーバリウム

■ エコバッグの制作

- 特定非営利法人 とくしま障がい者労働支援協議会 会員施設
社会福祉法人凌雲福祉会
就労支援センターハーモニー



■ 賞状揮毫及び大会昼食

- 特定非営利活動法人 Creer

Creer は、2008 年、障がいのある人が、それぞれの可能性を実現できることを信じて、スペイン語で信じるという意味の Creer (クレエール) の名で設立。障がいのある人の就労の場として、レストランをオープンしました。製造工程の効率化や提供する食事の地産地消や質の向上等を掲げ、2021 年には、就労継続支援 B 型としては、全国でもトップレベルの平均賃金に到達しました。さらに、調理の技術で地域に貢献したいと、2018 年より平日と第 4 土曜日に子ども食堂を開いて、子どもに無料で食事を提供しています。障がいがあっても、生き生きと働き、美味しいものを作って、自立のための賃金を得ながら、社会貢献に挑戦している姿を見てもらうことで、地域共生の推進を行っています。

- 令和 3 年とくしま NPO 大賞
- 令和 3 年徳島新聞社賞
- 令和 3 年内閣府特命担当大臣表彰バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進優良賞
- 令和 4 年共同通信社地域再生優秀賞



■ 大会進行

- 徳島市立高等学校放送部
第 40 回徳島県高等学校総合文化祭放送部門
朗読部門 第 1 位

2 年 三河 真結 さん

大きな大会で司会をするのは初めてで緊張しますが、精一杯頑張ります。



アナウンス部門 第 3 位
2 年 宮内 悠里 さん

昨年に引き続いて大きな司会の仕事をいただくことができ嬉しいです。昨年よりも伝わりやすいアナウンスを心がけて頑張ります。



- 城北高等学校放送部
第 40 回徳島県高等学校総合文化祭放送部門
朗読部門 第 2 位

2 年 渡辺まもる さん

初めての大会に緊張していますが、日々の練習を生かし、聞き取りやすい司会を心がけて精一杯頑張ります。



- 徳島北高等学校放送部
第 40 回徳島県高等学校総合文化祭放送部門
アナウンス部門 第 2 位

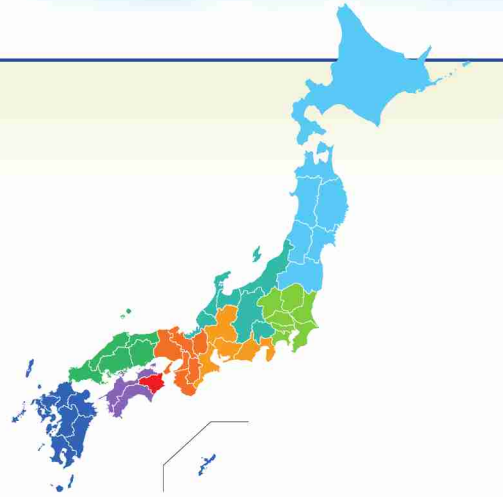
1 年 橋本 陽人 さん

初めての司会進行ですが、貴重な機会なので全力で取り組みます。



参加申込数 85 校

北海道・東北ブロック	9校
関東ブロック	14校
甲信越・北陸ブロック	7校
東海ブロック	9校
近畿ブロック	14校
中国ブロック	4校
四国ブロック (徳島県を除く)	5校
九州・沖縄ブロック	5校
開催県 (徳島県)	18校



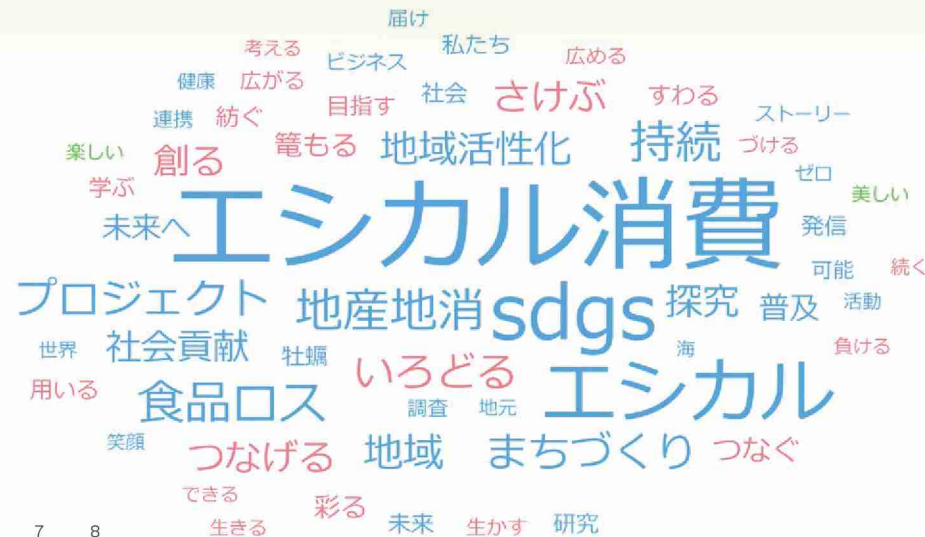
参加校データ分析

予選応募校のタイトルを分析しています。 ※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) で分析

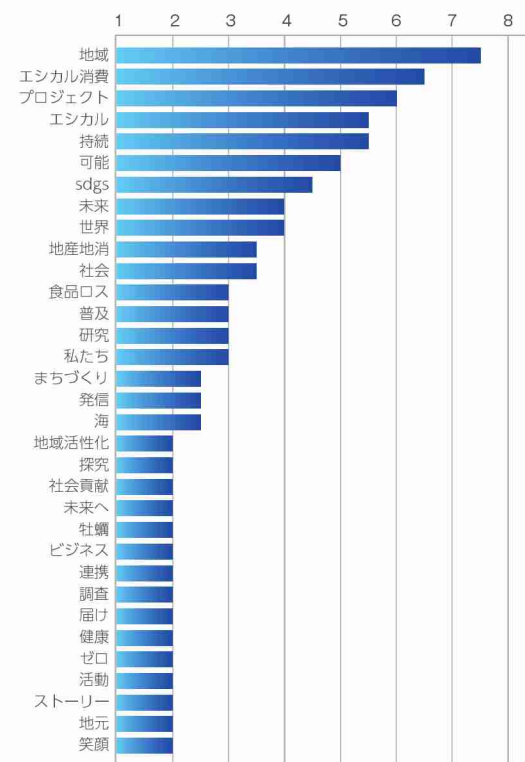
ワードクラウド

スコアが高い単語を複数選り出し、その値に応じた大きさで図示しています。

単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

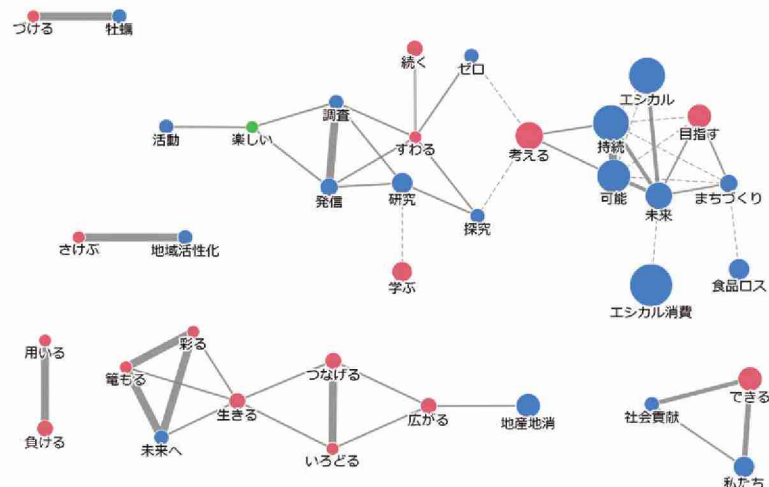


単語出現頻度



共起キーワード

文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。 ※共起とは、一文 (改行や「。」などで区切られた各文) の中に、単語のセットが同時に出現するという意味です。



中原氏

エシカル消費もSDGsも目指すものは「私たちの世界を変革する」ことです。8年後の自分と社会を想像しながら、皆さんが求める地域、社会、そして世界を創るためのきっかけになる活動に取り組んでみてください。



加渡氏

エシカル消費に「正解」はありません。様々な視点から地域の独自性と将来像を展望する中で、世界や未来を変える原動力となるエシカルの小さな種を、毎日の学びの中から発見し探究してください。



原田氏

エシカルな課題解決で大事なことは協働すること。自分たちだけでなく、地域や社会とつながり、地元コミュニティや企業など様々な人々と力を合わせて課題に立ち向かうことで、力強く未来を変えられると思います。



末吉氏

取組を通じて、自分や仲間、学校や地域にどんな変容が生まれたのかを省みることも大切。自分たちが新しい歴史を作るんだ、という気持ちで、今後も学校の中だけでなく暮らしの中でも実践者であり続けてほしいです。



坂倉氏

高校生らしいユニークな発想で、地域の皆さんや自治体、企業等と協働した連携性や、学校内のみならず外部の多くの方々に広く影響を与える波及力があるような、エシカルの活動を期待しています。



笠井氏

それぞれの発想や取組みを、地元の地域を越えて日本各地にひろげ、世界各地とも積極的に交流を図ることで、共感を得ながら発展させるなどにより、日本の若者がリーダーシップを発揮していくことを期待しています。



島田氏

事業者だけでなく、行政や地域の大人達にどんどん声をかけて巻き込み、コラボをどんどん広げてほしい。高校生の皆さんのエシカルな未来を求める声は、きっと大人達を動かします。その成果を期待しています。



藤田氏

もっと自由に発想していただきたいです。エシカルとして定着した活動にとどまらず、身近な気づきから、社会を良く変える、将来世代のためになるアイデアを模索してください。それが自己変革へつながると思います。



河井氏

この短期間でよくレポートをまとめていると感心しました。新たなテーマ、継続のものともに、レポートまたはプレゼンの中で、今回のまとめに至るまでの試行錯誤や苦心した点についても紹介・説明してもらいたい。



木次氏

実践にあたっては、点から線そして面へと広がっていくことを見通して、取り組まれるとよいと思います。さらにそれが複合して、社会に波及していくことを期待しています。